

川越市障害者福祉に関するアンケート調査

報 告 書

《概要版》

令和5年3月

川 越 市

調査の概要

1. 調査目的

川越市障害者支援計画（令和3年度～令和5年度）の次期計画を策定するにあたり、障害のある方等へのアンケート調査を行い、その分析データを活用することにより、障害者の生活上の課題やニーズを明らかにするものです。

2. 調査対象・回収状況

「障害者手帳所持者等」（身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者）、「特別支援学校高等部3年生」、「障害者支援施設利用者」及び「グループホーム利用者」を対象に調査を実施しました。

調査対象	抽出者数	調査票回収数	回収率	障害種別回答者数
障害者手帳所持者等	3,303	1,754	53.1%	-
1. 身体障害者	1,400	778	55.6%	895
2. 知的障害者	650	305	46.9%	329
3. 精神障害者	650	342	52.6%	380
4. 難病患者	400	217	54.3%	280
5. 発達障害者	181	103	56.9%	186
6. 高次脳機能障害者	22	9	40.9%	43
7. 特別支援学校高等部3年生	52	23	44.2%	-
8. 障害者支援施設利用者	85	50	58.8%	-
9. グループホーム利用者	60	35	58.3%	-
合計	3,500	1,862	53.2%	-

※ 「障害種別回答者数」は、「障害者手帳所持者等」の調査で回答があった障害種別ごとの回答者数としています。（重複して障害がある方は、それぞれに回答者数として計上しています）

3. 調査時期

令和4年10月

4. 調査方法

対象者を無作為抽出し、調査票を郵送により配布・回収

5. 調査項目

- A. 基本的な属性
 - B. 障害・介助等の状況
 - C. 健康状態や医療
 - D. 外出や余暇の過ごし方
 - E. 幼稚園・保育所、学校等
 - F. 雇用・就労
 - G. 今後の希望
 - H. 相談や情報入手
 - I. 福祉サービス
 - J. 災害時の支援等
 - K. 障害者への理解や権利擁護
 - L. 新型コロナウイルス感染症の影響
 - M. 市の取り組み等
 - N. 学校卒業後の日中の過ごし方（「特別支援学校高等部3年生」のみ）
 - O. 入所施設での生活（「障害者支援施設利用者」及び「グループホーム利用者」のみ）
- ※介助者向けアンケート

6. この報告書における調査結果の見方

- ・調査結果の数値は、回答率(%)で表示しています。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は $n=$ で示しています。
- ・回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため回答率(%)の合計数値は100%とはならない場合があります。
- ・回答には、単一回答(○は1つ)と複数回答(○は複数)があり、複数回答の場合は回答率(%)の合計数値は100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフの間のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合があります。

【クロス集計表の見方】

- ①クロス集計表は、主に障害種別と設問を組み合わせる分析を行っています。
- ②調査対象である「障害者手帳所持者等」（身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者）、「特別支援学校高等部3年生」、「障害者支援施設利用者」及び「グループホーム利用者」それぞれで集計を行っています。
- ③クロス集計表の1番上の行にある「障害者手帳所持者等」は、全体の傾向をとらえるため、調査票回収数（障害重複なし）の合計としており、各障害種別の合計とは一致しません。
- ④割合の多い回答について、1番目を「濃い網掛け」、2番目を「薄い網掛け」としています。
- ⑤クロス集計表の縦軸の基となる設問で回答がなかったものについては、集計表に計上していません。

調査結果のまとめ・見えてくる課題やニーズ

障害のある方等がどのような施策を望まれているかなどについて、調査結果をまとめ、見えてくる課題やニーズを整理しました。

1. 障害・介助等の状況

【調査結果のまとめ】

《介助等の状況》

- 最も多い回答が「特に介助等は受けていない」ですが、比較的若年層が多い知的障害者と発達障害者では、主な介助者として「父母」と回答した人が6割を超えています。[表1]

実際に介助等を受けている場面では「通院するとき」、「外出するとき」など、移動が伴う場面や、「書類等の手続きのとき」、「お金の管理をするとき」など、金銭管理や各種手続きなど判断能力が必要になる場面が上位となっています。

【表1】主な介助者（単一回答）

障害種別	n	父母	配偶者（夫または妻）	子ども（子どもの配偶者も含む）	ホームヘルパー	兄弟姉妹	祖父母	近所の人、知人・友人	そのほかの親せき	ボランティア	その他	特に介助等は受けていない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	20.6%	18.4%	7.2%	2.2%	1.8%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	3.5%
身体障害者	895	8.7%	26.0%	12.0%	3.1%	1.5%	0.1%	0.6%	0.0%	0.1%	4.4%	31.1%	12.5%
知的障害者	329	67.8%	2.1%	0.3%	0.6%	2.7%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	4.6%	10.9%	10.3%
精神障害者	380	22.4%	15.3%	1.8%	1.8%	2.9%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	2.6%	40.0%	12.6%
難病患者	280	13.2%	18.2%	4.3%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	42.5%	15.4%
発達障害者	186	61.8%	3.2%	0.0%	0.5%	1.1%	2.2%	0.0%	0.5%	0.0%	1.6%	22.0%	7.0%
高次脳機能障害者	43	18.6%	25.6%	7.0%	4.7%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	4.7%	20.9%	16.3%
特別支援学校高等部3年生	23	69.6%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	26.1%	0%

【見えてくる課題やニーズ】

- ニーズが複合化・多様化していることから、介助等をしている家族等の負担を軽減し、障害のある方が安心して暮らせるよう、適切な支援やサービスの充実が求められています。

2. 健康状態や医療

【調査結果のまとめ】

《健康管理や医療について困ったり不便に思うこと》

- 健康管理や医療について困ったり不便を感じている方は全体で5割台となっています。内訳をみると、上位の回答「障害のために症状が正確に伝わらない」、「医療費の負担が大きい」、「通院のための交通手段が確保・利用しにくい」はいずれも1割半ばとなっています。障害種別でみると、「障害のために症状が正確に伝わらない」は知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者がいずれも4割近く、その他は約1割となっています。

《医療的ケア》

- 医療的ケアを行っている方は、すべての障害種別で「家族」が1位となっていることから、家族の負担が大きいものと推察されます。[表2]

《医療的ケアを必要な方が日常生活に必要な支援》

- 「送迎等の移動支援」、「訪問による在宅ケア（看護）の支援」がいずれも約3割と多くなっています。[表3]

[表2] 医療的ケアを行っている方(単一回答)

障害種別	n	家族	医師	看護師	(介護福祉士 ヘルパー)	福祉サービスの職員	学校の担任	養護教諭	本人	その他	無回答
身体障害者	111	45.0%	37.8%	44.1%	16.2%	13.5%	0.9%	0.0%	18.0%	2.7%	2.7%
知的障害者	23	60.9%	21.7%	34.8%	8.7%	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%	13.0%	0.0%
精神障害者	19	47.4%	36.8%	21.1%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	26.3%	0.0%	5.3%
難病患者	36	58.3%	33.3%	55.6%	13.9%	8.3%	2.8%	0.0%	11.1%	2.8%	0.0%
発達障害者	10	70.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
高次脳機能障害者	6	66.7%	16.7%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%

[表3] 医療的ケアを必要な方が日常生活に必要な支援(複数回答)

障害種別	n	送迎等の移動支援	訪問による在宅ケア(看護)	相談支援	訪問による在宅ケア(介護)	日中に利用可能な障害福祉サービス事業所	宿泊可能な障害福祉サービス事業所	訪問による家事等の支援	外出時ヘルパー同行支援	サービスの利用調整支援	療育・発達支援	学校や通所サービスにおける看護の支援	ガイドブック等での情報提供	その他	特にない	無回答
身体障害者	111	36.9%	32.4%	24.3%	26.1%	21.6%	15.3%	10.8%	9.9%	7.2%	8.1%	8.1%	4.5%	7.2%	19.8%	5.4%
知的障害者	23	47.8%	34.8%	47.8%	34.8%	34.8%	34.8%	8.7%	26.1%	21.7%	30.4%	26.1%	4.3%	17.4%	17.4%	4.3%
精神障害者	19	26.3%	26.3%	26.3%	21.1%	21.1%	15.8%	26.3%	10.5%	15.8%	5.3%	5.3%	0.0%	15.8%	10.5%	5.3%
難病患者	36	33.3%	38.9%	27.8%	19.4%	30.6%	22.2%	2.8%	8.3%	13.9%	19.4%	16.7%	5.6%	8.3%	13.9%	5.6%
発達障害者	10	60.0%	20.0%	60.0%	30.0%	50.0%	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%
高次脳機能障害者	6	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%

【見えてくる課題やニーズ】

- 医療的ケアが必要な方や保護者・家族が安心して生活ができるよう、医療行為を行う家族の負担軽減が求められています。
- 「送迎等の移動支援」や「訪問による在宅ケア（看護）の支援」などが多くなっていることから、地域や家庭で安心して暮らせるよう、心身の状況等に応じた適切な支援が求められています。

3. 外出や余暇の過ごし方

【調査結果のまとめ】

《外出の際に特に困っていること》

- 外出の際に困っていると回答された方は、全体で6割近くとなっています。
内訳では、「家族に負担がかかる」が最多となっています。[表4]
特に、外出の手段が「車いす」と「車（乗せてもらう）」と回答された4割以上の方が回答されています。

《機会はないがほしいと思う活動》

- すべての障害種別で「旅行に出かける」が1位となり、「スポーツをする」、「友人・知人と会って交流を深める」など、人との交流や外出を伴った活動への回答が多くなっています。[表5]
また活動を行うために効果的なこととして、「一緒に活動する仲間がいること」、「活動する場所が近くにあること」、「費用を心配しなくてよいこと」の3つが上位を占めています。

【表4】外出の際に特に困っていること（複数回答）※上位抜粋

障害種別	n	家族に負担がかかる	交通費や利用料がかかる	道路や建物・駅に階段や段差が多い	歩道が少ない・狭い	バスや鉄道などが利用しにくい	周囲の視線が気になる	困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない	障害者用の駐車スペースが少ない	多機能トイレが少ない
		障害者手帳所持者等	1,754	23.3%	15.6%	14.8%	12.6%	9.2%	9.2%	8.4%
身体障害者	895	25.0%	13.5%	23.2%	14.9%	11.4%	4.8%	4.6%	13.0%	10.1%
知的障害者	329	30.4%	13.1%	8.2%	10.0%	9.4%	12.8%	16.7%	4.6%	9.1%
精神障害者	380	20.5%	25.8%	7.1%	11.1%	7.4%	19.5%	11.8%	2.1%	2.4%
難病患者	280	20.4%	12.9%	15.4%	11.8%	9.3%	3.6%	4.6%	9.3%	10.4%
発達障害者	186	26.3%	18.3%	2.2%	14.0%	10.8%	21.0%	22.6%	2.2%	4.8%
高次脳機能障害者	43	32.6%	30.2%	14.0%	18.6%	4.7%	2.3%	14.0%	2.3%	7.0%
特別支援学校高等部3年生	23	30.4%	8.7%	8.7%	13.0%	13.0%	17.4%	8.7%	0.0%	17.4%
障害者支援施設利用者	50	28.0%	4.0%	12.0%	20.0%	2.0%	8.0%	12.0%	6.0%	6.0%
グループホーム利用者	35	14.3%	8.6%	2.9%	17.1%	8.6%	8.6%	11.4%	5.7%	8.6%

【表5】機会はないがほしいと思う活動（複数回答）

障害種別	n	旅行に出かける	スポーツをする	友人・知人と会って交流を深める	趣味の活動をする	教養・資格取得等に関する学習をする	観劇・映画・コンサート・カラオケ等に行く	地域の行事や活動に参加する	インターネットを使った活動をする	デパートや店等を見て歩く	近所を散歩する	テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする	その他
		障害者手帳所持者等	1,754	29.9%	21.4%	20.6%	20.2%	19.8%	17.8%	11.5%	10.3%	9.8%	3.8%
身体障害者	895	25.7%	16.4%	17.9%	17.4%	16.3%	18.8%	14.0%	9.3%	10.9%	10.2%	4.1%	1.0%
知的障害者	329	30.4%	24.9%	24.9%	25.5%	21.0%	21.3%	22.8%	11.9%	9.7%	11.6%	2.1%	0.9%
精神障害者	380	45.0%	29.2%	30.3%	27.4%	31.3%	28.2%	22.4%	15.3%	12.9%	13.4%	5.8%	1.3%
難病患者	280	28.6%	23.2%	19.6%	24.6%	20.4%	23.6%	20.0%	14.3%	10.4%	10.7%	3.9%	0.7%
発達障害者	186	43.5%	28.5%	31.2%	25.3%	31.7%	25.8%	25.3%	17.2%	10.8%	10.2%	3.2%	0.5%
高次脳機能障害者	43	34.9%	32.6%	23.3%	20.9%	30.2%	25.6%	20.9%	11.6%	11.6%	14.0%	7.0%	0.0%
特別支援学校高等部3年生	23	36.5%	25.9%	23.5%	16.5%	4.7%	25.9%	30.6%	8.2%	21.2%	9.4%	3.5%	0.0%
障害者支援施設利用者	50	36.0%	20.0%	22.0%	16.0%	2.0%	26.0%	30.0%	2.0%	22.0%	12.0%	6.0%	0.0%
グループホーム利用者	35	37.1%	34.3%	25.7%	17.1%	8.6%	25.7%	31.4%	17.1%	20.0%	5.7%	0.0%	0.0%

【見えてくる課題やニーズ】

- 社会や人とのつながりが生まれるよう地域で活動するための情報提供などが求められています。
- 外出時や移動の困難を解消し、自分らしい生活を送ることができるよう、バリアフリーの推進や移動支援サービスの充実等、ハード・ソフト両面からの環境整備が求められています。

4. 幼稚園・保育所、学校等

【調査結果のまとめ】

《学校で勉強する場合に希望する学習形態》

- 幼稚園や保育所、学校などに通っている人が、学校で勉強する場合に希望する学習形態について、「障害のある仲間のクラスで勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい」が4割半ば、発達障害者と知的障害者ではいずれも5割超え、また「障害のあるなしにかかわらず、一緒のクラスで勉強したい」では難病患者が4割半ばとなっており、障害の種別により明確な特徴が表れています。[表6]

《幼稚園・保育所、学校等に通っていて困っていること》

- 「特にない」を除くと、身体障害者、知的障害者、難病患者では、「通うための介助者を確保しにくい」が、1割から2割台で最も多くなっており、発達障害者では、「授業についていけない」が、2割台で最も多くなっています。
精神障害者では、「授業についていけない」が、4割を超え、最も多くなっています。

【表6】希望する学習形態（単一回答）

障害種別	n	仲間強しの勉強しながら、障害のある仲間のクラスで勉強したい	同じようなクラスで勉強した仲間	障害のあるなしにかかわらず勉強したい	わからない	その他	無回答
		43.2%	20.9%	18.0%	11.5%	2.2%	4.3%
障害者手帳所持者等	139	43.2%	20.9%	18.0%	11.5%	2.2%	4.3%
身体障害者	31	29.0%	29.0%	25.8%	12.9%	3.2%	0.0%
知的障害者	86	52.3%	27.9%	1.2%	12.8%	2.3%	3.5%
精神障害者	12	41.7%	25.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%
難病患者	32	15.6%	12.5%	46.9%	21.9%	3.1%	0.0%
発達障害者	62	53.2%	24.2%	6.5%	6.5%	1.6%	8.1%
高次脳機能障害者	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【見えてくる課題やニーズ】

- 学習形態において、障害のある子どもと障害のない子どもが同じ教室で学習できる環境など、希望する学習形態で学ぶことができる環境づくりが求められています。
- 障害のある子どもと障害のない子どもが一緒に参加する活動を通して、さらなる交流促進や共同学習の機会を増やすことが求められています。
- 学校等に通う上での困りごとを相談することができる体制の整備が求められています。

5. 雇用・就労

【調査結果のまとめ】

《1年間の収入の額》

- すべての障害種別で「年収 100 万円未満」が最も多くなっており、約3割から5割近くとなっています。[表7]

《障害のある人の就労を促進するために希望すること》

- 身体障害者と精神障害者では「障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備」が、難病患者、高次脳機能障害者では「経営者の理解」が、知的障害者、発達障害者では「従業員の理解」が最多となっています。[表8]

【表7】 昨年一年間の総収入（単一回答）

障害種別	n	年収100万円未満	150万円未満	年収100万円以上	200万円未満	年収150万円以上	300万円未満	年収200万円以上	500万円未満	年収300万円以上	年収500万円以上	わからない・答えたくない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	34.8%	11.0%	7.5%	9.5%	4.3%	2.7%	12.6%	17.4%		
身体障害者	895	30.2%	10.8%	9.1%	12.7%	5.1%	2.8%	10.6%	18.7%				
知的障害者	329	48.3%	11.2%	2.4%	2.7%	0.9%	0.3%	17.0%	17.0%				
精神障害者	380	42.6%	14.7%	5.5%	4.2%	2.6%	1.3%	16.3%	12.6%				
難病患者	280	35.4%	6.1%	8.6%	9.6%	6.1%	6.4%	11.1%	16.8%				
発達障害者	186	39.8%	10.8%	4.3%	4.3%	2.2%	1.1%	21.0%	16.7%				
高次脳機能障害者	43	41.9%	7.0%	2.3%	18.6%	2.3%	0.0%	11.6%	16.3%				
障害者支援施設利用者	50	48.0%	4.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	20.0%	26.0%				
グループホーム利用者	35	57.1%	17.1%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	17.1%	5.7%				

【表8】 就労を促進するために希望すること（複数回答）

障害種別	n	障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備	経営者の理解	従業員の理解	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	ジョブコーチ等の就労定着支援	障害者が実際に働いている状況の紹介	民間企業の雇用努力	就労を支援するための施設等の増設	生活リズムや体調管理等の支援	職場環境のバリアフリー化	職場を理解するための就労体験を増やす	行政から企業への指導や罰則の強化	その他	特にない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	33.5%	33.2%	33.0%	21.0%	10.3%	7.2%	7.1%	6.8%	6.7%	6.1%	5.5%	4.4%	2.2%
身体障害者	895	32.0%	30.7%	26.8%	18.8%	5.7%	6.5%	7.0%	6.5%	4.9%	8.4%	3.7%	4.2%	1.8%	13.6%	24.7%
知的障害者	329	33.7%	32.5%	39.8%	25.2%	19.5%	10.3%	6.7%	10.6%	7.9%	4.0%	7.6%	4.0%	2.1%	7.3%	16.7%
精神障害者	380	38.7%	33.9%	37.4%	27.4%	13.7%	8.9%	8.4%	7.6%	12.9%	2.4%	7.1%	5.0%	3.4%	7.4%	15.5%
難病患者	280	36.8%	42.9%	37.1%	19.6%	9.6%	5.4%	7.1%	5.0%	5.4%	10.0%	4.3%	5.7%	2.5%	9.6%	18.2%
発達障害者	186	44.1%	33.9%	46.8%	27.4%	25.3%	10.8%	8.6%	10.2%	10.2%	2.7%	11.8%	7.0%	3.8%	1.6%	12.9%
高次脳機能障害者	43	34.9%	37.2%	30.2%	23.3%	11.6%	2.3%	7.0%	9.3%	7.0%	4.7%	2.3%	9.3%	4.7%	9.3%	23.3%
障害者支援施設利用者	50	28.0%	18.0%	30.0%	16.0%	14.0%	10.0%	2.0%	12.0%	24.0%	14.0%	8.0%	2.0%	2.0%	8.0%	16.0%
グループホーム利用者	35	31.4%	14.3%	37.1%	5.7%	20.0%	14.3%	8.6%	17.1%	17.1%	5.7%	11.4%	2.9%	0.0%	8.6%	17.1%

【見えてくる課題やニーズ】

- 障害のある方にとって働きやすく、長期的に働ける環境整備がされるよう、企業等の理解・サポートが求められています。また、賃金・工賃の向上に向けた取組も求められています。

6. 将来の希望

【調査結果のまとめ】

《日中どのように過ごしているか》

- 身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者で「家で過ごしている」が、知的障害者、発達障害者では「幼稚園や保育所、学校等に通っている」が最多となっています。[表9]

《近い将来（今後3年以内）に日中どのように過ごしたいか》

- 「家庭内で過ごしたい」、「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が上位を占めています。[表10]
- 身体障害者、難病患者では「家庭内で過ごしたい」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が最多となっています。
- 『現在の暮らし場所』では「本人または家族の持ち家」が7割半ばとなっており、『希望する暮らし場所』では「家族と一緒に暮らしたい」が6割半ばとなっています。

【表9】 現在の日中の過ごし方（複数回答）

障害種別	n	家で過ごしている	収入を伴う仕事をしたい (福祉的就労含む)	障害者の通所施設・事業所に通っている	家の仕事を手伝っている	幼稚園や保育所、学校等に通っている	高齢者の通所施設・事業所に通っている	病院等(デイケア等)で過ごしている	入所施設で過ごしている	創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	求職活動をしている	無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	その他	無回答
身体障害者	895	63.5%	13.4%	5.5%	8.8%	3.5%	12.6%	4.1%	4.5%	3.1%	1.2%	1.5%	3.6%	4.5%
知的障害者	329	21.3%	24.3%	25.5%	5.5%	26.1%	2.1%	1.2%	4.3%	0.6%	0.3%	0.0%	2.4%	4.0%
精神障害者	380	59.5%	23.4%	10.5%	11.6%	3.2%	3.7%	3.4%	1.3%	1.8%	5.5%	1.1%	3.4%	2.9%
難病患者	280	50.4%	22.9%	7.1%	2.5%	11.4%	9.3%	4.3%	1.1%	5.0%	1.4%	2.1%	3.6%	4.6%
発達障害者	186	26.3%	28.5%	16.7%	6.5%	33.3%	0.0%	1.1%	0.5%	1.1%	3.2%	0.0%	0.5%	4.3%
高次脳機能障害者	43	48.8%	23.3%	7.0%	4.7%	2.3%	25.6%	4.7%	14.0%	0.0%	7.0%	0.0%	4.7%	4.7%

【表10】 近い将来（今後3年以内）に希望する日中の過ごし方（単一回答）

障害種別	n	家庭内で過ごしたい	収入を伴う仕事をしたい (福祉的就労含む)	幼稚園や保育所、学校等に 通いたい	障害者の通所施設・事業所に 通いたい	創作活動や交流などの活動・ 集まりに参加したい	高齢者の通所施設・事業所に 通いたい	家の仕事を手伝いたい	高齢者の入所施設で過ごした い	障害者の入所施設で過ごした い	ボランティアなどをして いたい	病院等(デイケア等)で過 ごしたい	その他	無回答
身体障害者	895	47.6%	12.8%	2.9%	3.0%	2.7%	3.9%	2.9%	3.5%	2.0%	1.6%	0.9%	3.2%	13.0%
知的障害者	329	8.2%	28.6%	19.1%	19.8%	2.1%	1.2%	1.2%	0.9%	5.8%	0.6%	0.9%	3.6%	7.9%
精神障害者	380	20.3%	39.2%	2.1%	2.9%	4.7%	1.1%	2.6%	0.5%	2.1%	1.8%	2.4%	8.2%	12.1%
難病患者	280	33.6%	26.8%	8.9%	5.0%	3.6%	3.2%	0.4%	1.4%	2.5%	0.7%	1.1%	2.9%	10.0%
発達障害者	186	7.0%	42.5%	26.3%	9.1%	3.2%	0.0%	1.1%	0.0%	1.6%	0.0%	0.5%	1.6%	7.0%
高次脳機能障害者	43	23.3%	39.5%	0.0%	0.0%	2.3%	9.3%	2.3%	2.3%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%	11.6%

【見えてくる課題やニーズ】

- 近い将来（今後3年以内）に、就労を希望する方が多くなっていることから、福祉的就労を含めた多様な就労の機会を確保することが求められています。
- 「家族と一緒に暮らしたい」という回答が多くなっており、障害のある方が安心して自分らしく暮らせるよう、生活環境の整備等が求められています。

7. 相談・情報入手

【調査結果のまとめ】

《生活で困っていることや悩んでいること》

- 現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「特にない」が最も多く、次いで「生活費が足りない」、「外出がしにくい」、「家族などの介助者の健康状態」となっています。[表 11]

《悩みや困ったことなどの相談先》

- 悩みや困ったことなどの相談先としては、すべての障害種別で「家族や親せき」が4割近くから7割台で最も多くなっています。[表 12]

《情報入手・コミュニケーションで困ること》

- 知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が3割台から5割を超えており最も多くなっています。身体障害者と難病患者では「特にない」を除くと、「どこを調べればよいかわからない」が最も多くなっています。

【表 11】生活で困っていることや悩んでいること（複数回答）

障害種別	n	生活費が足りない	外出がしにくい	健康状態などの介助者の	趣味や生きがいを持つ	話し相手や相談相手がいない	医療費の負担が重い	働く場がない	必要な保健・福祉サービスが不足している	教育や訓練が十分に受けられない	身の回りの介助や支援をしてくれる人がいない	その他	特にない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	23.1%	21.9%	18.0%	15.6%	15.6%	14.4%	8.0%	7.8%	4.4%	2.9%	4.1%
身体障害者	895	19.6%	24.5%	19.3%	13.5%	12.6%	13.4%	5.0%	7.9%	3.5%	3.6%	3.2%	30.1%	9.9%
知的障害者	329	15.8%	21.3%	25.2%	11.2%	14.6%	5.8%	5.2%	11.2%	9.4%	3.6%	4.3%	34.3%	7.0%
精神障害者	380	42.4%	27.6%	19.7%	30.5%	31.8%	23.2%	18.9%	9.5%	6.6%	2.6%	5.5%	16.8%	5.8%
難病患者	280	17.5%	22.1%	19.3%	13.2%	11.1%	19.3%	5.4%	7.5%	2.5%	3.9%	7.9%	31.4%	6.4%
発達障害者	186	26.9%	18.8%	23.1%	15.6%	21.0%	14.0%	11.3%	10.2%	13.4%	1.1%	4.8%	26.9%	5.9%
高次脳機能障害者	43	27.9%	25.6%	30.2%	16.3%	20.9%	11.6%	16.3%	11.6%	18.6%	2.3%	4.7%	9.3%	18.6%

【表 12】主な相談先（複数回答）※上位 10 項目

障害種別	n	家族や親せき	病院・医師・看護師	近所の人、知人・友人	職員 障害者施設や事業所の	職場の仲間	相談支援事業所	支川 越市障害者総合相談 センター	幼稚園・学校 の先生	通園施設や 保育所、	窓口 ・市などの 相談	国・県・市 などの相談	インターネット上の コミュニティ
		障害者手帳所持者等	1,754	66.1%	20.0%	17.5%	10.8%	5.4%	5.4%	3.5%	3.2%	2.5%	2.3%
身体障害者	895	65.4%	17.1%	18.2%	6.9%	2.9%	3.6%	2.6%	1.3%	2.0%	0.9%		
知的障害者	329	70.2%	11.6%	8.8%	24.6%	7.9%	14.9%	6.1%	11.6%	2.7%	1.8%		
精神障害者	380	60.3%	37.4%	21.8%	13.7%	4.5%	6.3%	7.4%	0.5%	4.7%	7.6%		
難病患者	280	75.4%	20.0%	20.4%	6.1%	6.4%	3.6%	2.1%	2.1%	1.4%	1.4%		
発達障害者	186	69.9%	21.0%	14.5%	24.2%	10.2%	12.4%	4.3%	13.4%	3.8%	5.9%		
高次脳機能障害者	43	39.5%	23.3%	11.6%	25.6%	4.7%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%		
特別支援学校高等部3年生	23	69.6%	8.7%	13.0%	13.0%	-	8.7%	13.0%	47.8%	4.3%	0.0%		
障害者支援施設利用者	50	54.0%	14.0%	0.0%	76.0%	4.0%	4.0%	0.0%		0.0%	0.0%		
グループホーム利用者	35	42.9%	22.9%	11.4%	71.4%	11.4%	22.9%	5.7%		2.9%	0.0%		

【見えてくる課題やニーズ】

- 情報の伝達や取得に困難を抱える方に対し、コミュニケーション手段の充実が求められています。
- サービス内容の紹介や利用手続き、新しい制度の説明などについて、障害のある方の特性に応じた媒体を活用するなど、情報提供の充実が求められています。

8. 福祉サービス

【調査結果のまとめ】

《福祉サービスの利用状況と今後3年以内の利用意向》

- 福祉サービスの利用者数では「居宅介護（ホームヘルプサービス）」が73件と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が67件、「短期入所（ショートステイ）」が64件となっています。

[表13]

20人以上利用されているサービスの中で「同じくらい利用予定」と回答された方は「計画相談支援」が最も多く9割を超えています。

また、「増やす予定」では「短期入所（ショートステイ）」と「行動援護」がいずれも3割近くから4割近くとなっています。特に「短期入所（ショートステイ）」については2割を超える方が今後3年以内に利用したいと回答されていることから、ニーズの高さがうかがえます。

《福祉サービスの利用で困っていること・事業所に望むこと》

- サービス利用で困っていることでは「どのようなサービスが利用できるのかわからない」が2割半ばで最も多く、福祉サービス事業所に望むことでは「サービス利用の手続きを簡単にして欲しい」が約1割台で最も多くの方が回答されています。

【表13】福祉サービス等の利用について（複数回答）

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定	今後3年以内に利用したい
居宅介護（ホームヘルプサービス）	73	84.9%	12.3%	2.7%	15.5%
放課後等デイサービス	67	82.1%	9.0%	9.0%	6.0%
短期入所（ショートステイ）	64	68.8%	28.1%	3.1%	22.3%
就労継続支援B型	55	83.6%	12.7%	3.6%	8.1%
生活介護	53	86.8%	11.3%	1.9%	10.0%
計画相談支援	44	90.9%	4.5%	4.5%	17.2%
就労移行支援	24	37.5%	16.7%	45.8%	12.3%
行動援護	21	57.1%	38.1%	4.8%	11.8%
就労定着支援	21	57.1%	19.0%	23.8%	11.1%
児童発達支援	18	83.3%	11.1%	5.6%	3.7%
同行援護	16	81.3%	12.5%	6.3%	5.1%
施設入所支援	16	93.8%	6.3%	0.0%	13.9%
自立訓練（機能訓練）	16	81.3%	12.5%	6.3%	13.2%
自立訓練（生活訓練）	16	75.0%	18.8%	6.3%	13.9%
共同生活援助（グループホーム）	13	84.6%	15.4%	0.0%	9.5%
就労継続支援A型	13	84.6%	15.4%	0.0%	12.8%
障害児相談支援	11	100.0%	0.0%	0.0%	3.5%
療養介護	9	100.0%	0.0%	0.0%	8.1%
重度障害者等包括支援	8	87.5%	12.5%	0.0%	4.2%
自立生活援助	8	75.0%	25.0%	0.0%	20.6%
障害児入所支援（医療型）	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.5%
重度訪問介護	3	100.0%	0.0%	0.0%	4.6%
地域定着支援	2	100.0%	0.0%	0.0%	9.7%
居宅訪問型児童発達支援	1	100.0%	0.0%	0.0%	1.4%
宿泊型自立訓練	0	-	-	-	7.2%
地域移行支援	0	-	-	-	6.0%
医療型児童発達支援	0	-	-	-	1.9%
保育所等訪問支援	0	-	-	-	0.7%
障害児入所支援（福祉型）	0	-	-	-	1.4%

【見えてくる課題やニーズ】

- ニーズが高いと見込まれる障害福祉サービスについて、サービスの提供が確保できるよう努めていくことが求められています。
- 福祉サービスの手続きを簡素化することなどの環境整備や、福祉サービス利用に当たっての支援体制を整えることが求められています。

9. 災害時の支援等

【調査結果のまとめ】

《災害時に困ることや不安なこと》

- 障害の種類や等級等まで細かく分けてみると、「1人では避難できない」が視覚障害者(48.9%)、平衡機能障害者(51.6%)、知的障害者((療育手帳[Ⓐ](57.1%)及び療育手帳A(70.1%))、発達障害者(42.5%)などが4割を超えています。
知的障害者(療育手帳[Ⓐ])と発達障害者では「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」がそれぞれ5割を超えており、平衡機能障害者では「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が5割近くと、他の障害と比べて回答が多くなっています。
障害の種類や等級により異なる対応が求められています。

《災害時にあるとよい支援》

- 災害時にあるとよいと思う支援として、「必要な医療的ケアを受けられる」は、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者でそれぞれ最も多くなっています。[表14]
- 知的障害者では避難所にたどり着く前の段階である「障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある」、「避難を手助けしてくれる」、発達障害者では「避難所でプライバシーが守られる」、「避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる」が1位、2位となっており、他の障害種別との結果に違いが見られます。

[表14] 災害時にあるとよい支援(複数回答)

障害種別	n	必要な医療的ケアを受けられる	避難所の設備(トイレ等)を充実させる	避難所でプライバシーが守られる	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある	避難を手助けしてくれる	避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる	被害状況、避難所の場所、物資の入手方法等の情報を知らせてくれる	救助や避難時に声かけをしてくれる	必要な補装具や日常生活用具を支給してくれる	周囲の人とのコミュニケーションを手助けしてくれる	電動車椅子や人工呼吸器などを使用するための電源の確保	その他	特にない	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	30.3%	24.9%	21.4%	20.5%	18.9%	17.1%	15.9%	13.3%	11.2%	8.3%	3.6%	1.5%	8.2%	15.2%
身体障害者	895	32.2%	26.1%	16.2%	22.3%	20.2%	17.9%	13.3%	11.5%	14.2%	3.9%	4.8%	1.7%	7.0%	17.8%
知的障害者	329	13.7%	20.4%	23.4%	29.8%	26.1%	19.5%	14.0%	21.9%	7.9%	18.2%	2.1%	0.9%	9.4%	13.1%
精神障害者	380	35.3%	22.6%	28.4%	11.6%	16.6%	18.7%	20.3%	15.0%	10.3%	10.5%	1.6%	1.6%	8.2%	13.7%
難病患者	280	41.4%	29.3%	18.9%	19.3%	17.1%	16.1%	16.1%	7.5%	12.9%	3.2%	8.2%	2.1%	5.7%	14.6%
発達障害者	186	17.7%	19.4%	30.6%	25.3%	19.9%	26.3%	22.6%	22.0%	8.1%	24.2%	1.6%	2.7%	3.8%	8.1%
高次脳機能障害者	43	34.9%	16.3%	18.6%	20.9%	34.9%	20.9%	14.0%	9.3%	9.3%	11.6%	2.3%	4.7%	4.7%	14.0%
特別支援学校高等部3年生	23	17.4%	26.1%	30.4%	13.0%	17.4%	8.7%	21.7%	21.7%	4.3%	17.4%	4.3%	0.0%	21.7%	8.7%

【見えてくる課題やニーズ】

- 災害時に自力で避難することが困難な方も多いことから、避難支援の充実が求められています。併せて、支援する側にも声かけなどの意識付けが求められています。
- 避難所においては、必要な医療的ケアを受けられるなどの環境整備の検討や、1人1人の障害特性が異なることを踏まえ、避難所の設備の充実も求められています。

10. 障害者への理解や権利擁護

【調査結果のまとめ】

《障害に対する市民の理解》

- 「進んでいる」と「多少進んでいる」を合わせた『進んでいる』が2割半ば、「後退している」と「多少後退している」を合わせた『後退している』が1割未満、「どちらともいえない」が3割半ばとなっています。

《障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと》

- 「学校等での障害を理解するための教育の充実」が3割近くとなっており、児童生徒への福祉教育等が求められています。[表 15]

《障害があることによって差別や嫌な思いを感じた場面》

- 「日常生活で」と回答された方が2割半ばとなっています。身体障害者と難病患者では「日常生活で」と「人との交流の場で」と回答された方は、他の種別と比べて少ない傾向にあります。

【表 15】 障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと（複数回答）

障害種別	n	の学校等での教育の充実	障害者が積極的に社会参加をする	福祉施設を地域に開かれたものにする	行政から事業者への合理的配慮の周知	スポーツ・文化活動等を通じた障害者と地域の人々との交流	支援グループの育成	ボランティアの育成	障害者の活動の積極的なPR	障害福祉をテーマとした講座や講演会の開催	その他	特にない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	27.9%	14.4%	13.1%	12.4%	11.9%	11.6%	7.1%	6.5%	5.3%	2.6%
身体障害者	895	23.0%	12.0%	15.3%	10.3%	10.6%	11.4%	8.2%	6.5%	4.9%	2.0%	17.8%	19.7%
知的障害者	329	41.3%	16.4%	15.8%	14.6%	16.7%	13.4%	5.5%	7.9%	5.8%	3.3%	11.2%	9.7%
精神障害者	380	26.3%	17.9%	12.4%	16.3%	10.3%	10.8%	4.5%	5.3%	7.6%	3.9%	18.9%	12.4%
難病患者	280	29.6%	16.1%	14.6%	12.5%	15.4%	12.1%	7.9%	5.0%	3.9%	2.5%	12.1%	17.1%
発達障害者	186	51.6%	18.3%	12.4%	21.0%	12.9%	10.8%	4.3%	4.8%	7.0%	3.2%	10.8%	5.4%
高次脳機能障害者	43	27.9%	23.3%	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%	4.7%	9.3%	4.7%	4.7%	14.0%	9.3%
特別支援学校高等部3年生	23	39.1%	17.4%	13.0%	13.0%	17.4%	13.0%	4.3%	8.7%	8.7%	0.0%	8.7%	17.4%
障害者支援施設利用者	50	24.0%	10.0%	28.0%	14.0%	18.0%	12.0%	12.0%	0.0%	6.0%	4.0%	6.0%	18.0%
グループホーム利用者	35	17.1%	14.3%	11.4%	0.0%	20.0%	11.4%	14.3%	8.6%	5.7%	0.0%	31.4%	11.4%

【見えてくる課題やニーズ】

- 障害特性及び障害のある方についての理解を深めるため、学校教育における取り組みをはじめ、地域で暮らす市民の方々への周知啓発も求められています。

11. 新型コロナウイルス感染症の影響

【調査結果のまとめ】

《新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化》

- すべての障害種別で「外出がしにくくなった」が5割から6割台で最も多くなっています。社会的なつながりが制限され、日常生活において様々な影響があったことがうかがえます。[表 16]

《「新しい生活様式」の実践で難しいこと》

- 身体障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、特別支援学校高等部3年生では「特にない」が最も多くなっていますが、知的障害者と障害者支援施設利用者及びグループホーム利用者では「人との距離を確保する」が3割から5割台と最も多くなっています。

[表 16] 新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化（複数回答）

障害種別	n	外出がしにくくなった	取りづらくなった	コミュニケーションが	医療機関の受診に関する	困りごとが増えた	気分の浮き沈みが大きく	な	増	お	感	社	遠	支	が	障	身	増	家	勤	特	無
		その他	特にない	無回答																		
障害者手帳所持者等	1,754	56.3%	26.3%	15.5%	15.5%	14.9%	8.7%	7.7%	7.7%	7.4%	5.7%	2.1%	2.3%	20.7%	8.7%							
身体障害者	895	58.9%	26.7%	17.3%	11.7%	10.3%	6.4%	6.6%	7.6%	7.3%	4.6%	1.6%	1.8%	19.9%	10.2%							
知的障害者	329	59.3%	24.3%	18.5%	11.6%	8.8%	7.9%	13.7%	17.0%	4.6%	7.3%	3.6%	4.0%	22.2%	5.5%							
精神障害者	380	53.9%	27.4%	15.5%	27.1%	31.1%	16.6%	9.2%	7.4%	12.1%	8.9%	2.6%	3.2%	19.2%	6.3%							
難病患者	280	61.8%	31.1%	16.8%	17.1%	13.2%	8.6%	8.2%	6.4%	6.4%	4.6%	1.8%	2.5%	16.4%	8.6%							
発達障害者	186	53.2%	31.2%	19.4%	22.6%	20.4%	13.4%	16.1%	14.0%	8.6%	5.9%	2.2%	4.3%	17.7%	5.4%							
高次脳機能障害者	43	60.5%	41.9%	16.3%	14.0%	14.0%	7.0%	14.0%	16.3%	11.6%	11.6%	4.7%	2.3%	14.0%	9.3%							
特別支援学校高等部3年生	23	47.8%	21.7%	13.0%	8.7%	4.3%	17.4%	13.0%	0.0%	17.4%	17.4%	4.3%	30.4%	4.3%	17.4%							
障害者支援施設利用者	50	76.0%	22.0%	24.0%	10.0%	2.0%	2.0%	14.0%	12.0%	8.0%	4.0%	0.0%	8.0%	8.0%	4.0%							
グループホーム利用者	35	68.6%	22.9%	8.6%	17.1%	5.7%	8.6%	8.6%	25.7%	2.9%	0.0%	8.6%	0.0%	17.1%	5.7%							

【見えてくる課題やニーズ】

- 障害の特性によって「新しい生活様式」の実践が困難に感じている方に対する理解と配慮が求められています。

12. 市の取り組み等

【調査結果のまとめ】

《市が充実させていけばよいと思う障害者施策》

- 全体で「経済的な援助」が2割半ばと最も多く、次いで「就労支援の充実」が2割近くとなっています。[表 17]

身体障害者では、「外出や移動の支援」(21.7%)が、知的障害者、発達障害者では「就労支援の充実」(知的 28.0%、発達 37.1%)が、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者では「経済的な援助」(精神 38.4%、難病 26.1%、高次脳 37.2%)が最多となっています。

また、特別支援学校高等部3年生では、「差別・虐待防止の周知・対応の推進」(43.5%)が、障害者支援施設利用者では、「入所施設の整備」(48.0%)が、グループホーム利用者では、「グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備」(28.6%)が最多となっています。

《障害者施策全般の満足度》

- 障害者施策への満足度については、「満足している」と「少し満足している」を合わせた『満足している』が3割半ば、「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた『満足していない』が1割半ば、「どちらともいえない」が4割近くとなっています。[表 18]

[表 17] 市が充実させていけばよいと思う障害者施策（複数回答）

項目	障害者手帳所持者等 (n=1,754)	身体障害者 (n=895)	知的障害者 (n=329)	精神障害者 (n=380)	難病患者 (n=280)	発達障害者 (n=186)	高次脳機能障害者 (n=43)	特別支援学校高等部3年生 (n=23)	障害者支援施設利用者 (n=50)	グループホーム利用者 (n=35)
経済的な援助	25.1%	18.8%	18.8%	38.4%	26.1%	30.6%	37.2%	34.8%	8.0%	14.3%
就労支援の充実	19.8%	10.9%	28.0%	29.5%	20.0%	37.1%	20.9%	34.8%	4.0%	11.4%
差別・虐待防止の周知・対応の推進	19.0%	15.1%	23.4%	22.1%	17.1%	26.3%	25.6%	43.5%	16.0%	17.1%
災害時の支援体制	18.4%	21.5%	16.1%	14.5%	19.3%	13.4%	9.3%	17.4%	16.0%	11.4%
障害のある人の特性を知ってもらうための周知啓発	17.9%	12.7%	20.4%	29.2%	12.9%	30.1%	32.6%	26.1%	26.0%	11.4%
外出や移動の支援	16.6%	21.7%	14.3%	10.0%	16.8%	11.8%	14.0%	34.8%	32.0%	20.0%
利用しやすい道路や公共施設の整備	16.2%	20.1%	9.7%	14.5%	18.2%	8.1%	25.6%	8.7%	14.0%	5.7%
障害のある人の健康診断や健康相談事業	13.6%	14.0%	16.1%	15.0%	12.1%	13.4%	23.3%	26.1%	10.0%	20.0%
適切な療育や支援を受けられる体制	13.3%	11.8%	22.2%	10.3%	13.6%	18.3%	16.3%	4.3%	22.0%	2.9%
障害者医療に関する情報収集・情報提供	12.8%	14.7%	10.0%	11.8%	12.9%	13.4%	14.0%	13.0%	18.0%	0.0%
介助者への支援	10.5%	13.3%	9.7%	6.6%	13.6%	9.1%	14.0%	8.7%	18.0%	5.7%

※回答結果より10.0%以上の項目を抜粋(無回答を除く)

[表 18] 川越市の障害者施策への満足度（単一回答）

障害種別	n	満足している	少し満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	14.5%	19.4%	38.9%	8.7%	5.1%	13.3%
身体障害者	895	15.4%	19.3%	36.9%	7.0%	4.2%	17.1%
知的障害者	329	11.2%	23.4%	40.4%	13.1%	6.4%	5.5%
精神障害者	380	16.1%	17.1%	38.7%	13.7%	8.4%	6.1%
難病患者	280	9.3%	22.5%	42.5%	6.8%	5.7%	13.2%
発達障害者	186	9.1%	22.0%	43.0%	16.1%	5.4%	4.3%
高次脳機能障害者	43	11.6%	11.6%	51.2%	7.0%	4.7%	14.0%
特別支援学校高等部3年生	23	4.3%	17.4%	52.2%	8.7%	17.4%	0.0%
障害者支援施設利用者	50	12.0%	22.0%	40.0%	12.0%	8.0%	6.0%
グループホーム利用者	35	20.0%	20.0%	22.9%	8.6%	14.3%	14.3%

【見えてくる課題やニーズ】

- 「経済的な援助」、「就労支援の充実」は、多くの障害種別で求められています。また、「外出や移動の支援」、「差別・虐待防止の周知・対応の推進」、「入所施設の整備」、「グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備」の充実を求められています。

13. 介助者向けアンケート

【調査結果のまとめ】

《介助者について》

○ 介助者は無回答を除くと「配偶者（夫または妻）」、「父母」、「子ども」等の親族・家族が約9割を占めています。年齢では「無回答」を除くと「65歳以上」が2割半ばと、40歳以上と回答された方が5割を超えており、中年から高齢層の介助者が多い結果となっています。[表 19]

介助者に必要と思われる支援では、「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」が2割半ばと最も多い回答となっており、親なき後の支援に関するニーズがうかがえます。[表 20]

【表 19】 介助者の年齢（単一回答）

障害種別	n	10歳未満	10歳	18歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	65歳以上	無回答
		17歳	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	64歳			
障害者手帳所持者等	1,754	0.2%	0.3%	0.0%	0.9%	3.6%	9.5%	12.0%	5.0%	23.9%	44.5%
身体障害者	895	0.1%	0.2%	0.0%	0.6%	1.9%	6.6%	11.2%	4.9%	30.1%	44.5%
知的障害者	329	0.3%	0.9%	0.0%	1.5%	9.4%	21.9%	21.3%	6.4%	23.7%	14.6%
精神障害者	380	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	4.2%	10.0%	10.3%	3.7%	16.8%	53.2%
難病患者	280	0.4%	0.4%	0.0%	0.7%	4.3%	8.2%	7.9%	5.4%	18.9%	53.9%
発達障害者	186	0.5%	1.1%	0.0%	1.1%	16.1%	23.7%	21.5%	6.5%	5.9%	23.7%
高次脳機能障害者	43	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.6%	14.0%	4.7%	34.9%	27.9%
特別支援学校高等部3年生	23	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.8%	34.8%	0.0%	0.0%	17.4%
障害者支援施設利用者	50	0.0%	0.0%	0.0%	16.0%	10.0%	6.0%	18.0%	6.0%	34.0%	10.0%
グループホーム利用者	35	0.0%	0.0%	2.9%	14.3%	0.0%	8.6%	8.6%	14.3%	31.4%	20.0%

【表 20】 介助者に必要と思われる支援（複数回答）

障害種別	n	家族が亡くなった後の障害のある方の支援	紹介・わかりやすいサービスや制度の紹介	経済的支援	サービス利用のための簡便な手続き	災害時も含めた緊急時の支援	気軽に情報交換できる機会の紹介・提供	勤務しやすい柔軟な働き方	ケアラーに役立つ情報の提供	気軽に休息や睡眠がとれる機会の確保	整備された電話や訪問による相談体制の確保	ケアラーの健康管理への支援	社会的なケアラー支援への理解	就労及び再就職への支援	他のケアラーと話し合えること	その他	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	26.2%	22.2%	19.5%	19.3%	15.1%	10.2%	10.0%	9.7%	9.3%	8.4%	6.7%	5.8%	5.5%	4.6%
身体障害者	895	18.2%	21.5%	18.0%	19.1%	16.2%	8.3%	8.0%	9.1%	8.9%	8.2%	6.1%	4.4%	3.6%	3.8%	1.2%	53.3%
知的障害者	329	64.1%	39.5%	27.4%	31.3%	25.2%	20.7%	23.1%	16.7%	17.3%	13.1%	10.6%	9.4%	13.1%	10.0%	2.7%	17.6%
精神障害者	380	28.9%	17.4%	23.2%	18.2%	12.4%	10.5%	10.5%	11.1%	8.7%	8.9%	6.6%	6.1%	6.1%	4.5%	0.8%	55.3%
難病患者	280	20.0%	20.0%	19.6%	18.2%	16.1%	10.4%	9.3%	8.2%	11.4%	11.4%	7.1%	5.7%	3.9%	4.3%	0.4%	57.5%
発達障害者	186	58.1%	37.1%	36.0%	33.9%	25.3%	26.9%	25.3%	17.2%	20.4%	17.2%	15.6%	14.0%	14.5%	10.2%	1.1%	25.3%
高次脳機能障害者	43	30.2%	41.9%	27.9%	27.9%	16.3%	18.6%	20.9%	14.0%	16.3%	14.0%	11.6%	11.6%	14.0%	11.6%	2.3%	34.9%
特別支援学校高等部3年生	23	56.5%	52.2%	39.1%	52.2%	13.0%	4.3%	30.4%	0.0%	17.4%	17.4%	4.3%	4.3%	30.4%	0.0%	0.0%	13.0%
障害者支援施設利用者	50	56.0%	30.0%	20.0%	22.0%	32.0%	12.0%	22.0%	18.0%	18.0%	10.0%	8.0%	6.0%	4.0%	4.0%	2.0%	18.0%
グループホーム利用者	35	57.1%	37.1%	20.0%	37.1%	20.0%	14.3%	8.6%	17.1%	5.7%	11.4%	2.9%	14.3%	8.6%	11.4%	0.0%	28.6%

【見えてくる課題やニーズ】

- 高齢の親の介助者が多くなっていることから、地域で安心して暮らし続けるための支援や自分らしく生活することが出来る場所の確保など、親亡き後を見据えた支援が求められています。
- 必要な人に必要なサービスが届くことで介助者の負担軽減にも繋がることから、わかりやすいサービスの周知や気軽に利用出来る相談支援体制も求められています。

調査結果

A. 基本的な属性

(1) 回答者の年齢

・「65歳以上」の高年齢層が4割半ばと最も多くなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者では、「65歳以上」(69.6%)が最も多くなっている。

知的障害者では、「20～29歳」(21.6%)が最も多くなっている。

精神障害者では、「40～49歳」(23.4%)が最も多くなっている。

難病患者では、「65歳以上」(42.5%)が最も多くなっている。

発達障害者では、「20～29歳」(23.7%)が最も多くなっている。

高次脳機能障害者では、「65歳以上」(46.5%)が最も多くなっている。

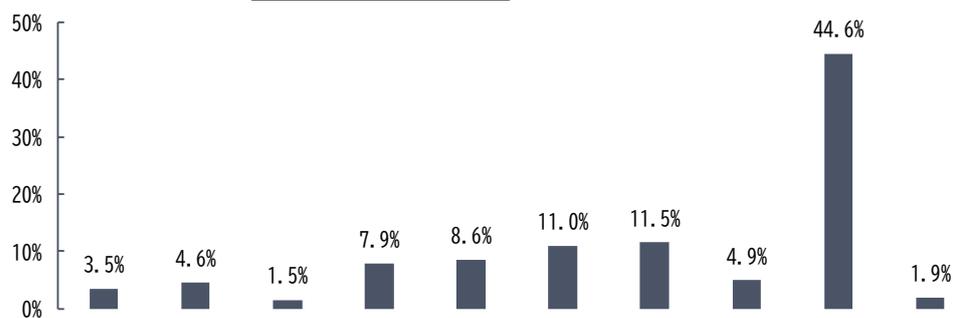
【障害者支援施設利用者】

「50～59歳」(34.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「40～49歳」(31.4%)が最も多くなっている。

回答者の年齢（単一回答）



障害種別	n	10歳未満	10歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	3.5%	4.6%	1.5%	7.9%	8.6%	11.0%	11.5%	4.9%
身体障害者	895	2.6%	1.7%	0.3%	2.1%	2.9%	5.9%	8.6%	5.4%	69.6%	0.9%
知的障害者	329	10.6%	16.1%	4.6%	21.6%	15.5%	13.7%	8.8%	0.6%	6.1%	2.4%
精神障害者	380	0.3%	2.6%	1.8%	11.8%	17.4%	23.4%	20.5%	6.6%	13.7%	1.8%
難病患者	280	4.6%	6.1%	2.9%	3.6%	6.8%	10.4%	14.3%	7.9%	42.5%	1.1%
発達障害者	186	15.1%	19.4%	7.0%	23.7%	16.7%	9.1%	4.3%	1.1%	0.0%	3.8%
高次脳機能障害者	43	0.0%	2.3%	0.0%	7.0%	2.3%	23.3%	16.3%	0.0%	46.5%	2.3%
障害者支援施設利用者	50			0.0%	4.0%	8.0%	32.0%	34.0%	12.0%	10.0%	0.0%
グループホーム利用者	35			0.0%	0.0%	22.9%	31.4%	22.9%	5.7%	14.3%	2.9%

B. 障害・介助等の状況

(1) 実際に介助等を受けている場面

・「通院するとき」が6割半ばと最も多く、次いで「書類等の手続きのとき」が6割となっている。

【障害種別ごと】

身体障害者、難病患者では、「通院するとき」がそれぞれ最も多くなっている。

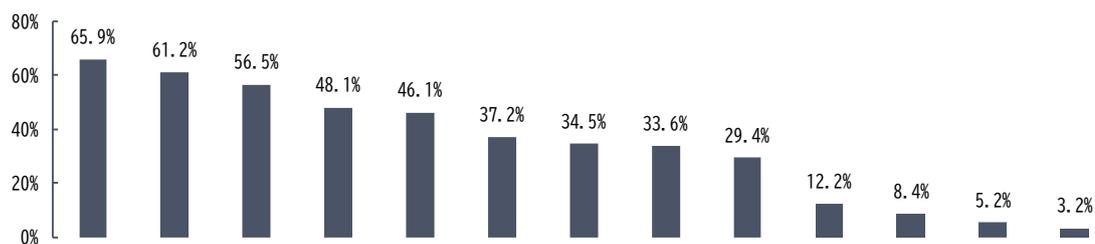
(身体 69.3%、難病 78.8%)

知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では、「書類等の手続きのとき」がそれぞれ最も多くなっている。(知的 86.1%、精神 63.3%、発達 88.6%、高次脳 85.2%)

【特別支援学校高等部3年生】

「書類等の手続きのとき」(82.4%)が最も多くなっている。

実際に介助等を受けている場面（複数回答）



障害種別	n	通院するとき	書類等の手続きのとき	外出するとき	お金の管理をするとき	洗濯・掃除をするとき	着替え、食事、入浴、トイレのとき	見守りが必要な状態のとき	服薬のとき	人とコミュニケーションをとるとき	家の中を移動するとき	医療的ケア（経管栄養、痰の吸引等）の対応のとき	その他	無回答
		障害者手帳所持者等	956	65.9%	61.2%	56.5%	48.1%	46.1%	37.2%	34.5%	33.6%	29.4%	12.2%	8.4%
身体障害者	505	69.3%	53.7%	61.2%	37.2%	46.5%	41.4%	26.7%	29.7%	20.0%	17.8%	10.7%	5.5%	4.0%
知的障害者	259	75.3%	86.1%	66.4%	79.9%	54.8%	50.2%	57.1%	58.7%	54.1%	14.7%	12.0%	4.2%	0.8%
精神障害者	180	55.0%	63.3%	42.2%	50.0%	40.6%	25.0%	35.0%	30.0%	31.1%	7.8%	3.9%	4.4%	2.2%
難病患者	118	78.8%	61.0%	66.1%	39.8%	52.5%	49.2%	32.2%	40.7%	26.3%	22.0%	17.8%	6.8%	1.7%
発達障害者	132	80.3%	88.6%	65.9%	74.2%	53.0%	41.7%	72.0%	56.1%	63.6%	9.1%	4.5%	3.0%	2.3%
高次脳機能障害者	27	77.8%	85.2%	63.0%	63.0%	48.1%	63.0%	51.9%	55.6%	33.3%	29.6%	29.6%	14.8%	0.0%
特別支援学校高等部3年生	17	64.7%	82.4%	41.2%	76.5%	47.1%	23.5%	47.1%	35.3%	23.5%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%

C. 健康状態や医療

(1) 健康管理や医療について困ったり不便に思うこと

・「特にない」を除くと、「障害のために症状が正確に伝わらない」、「医療費の負担が大きい」、「通院のための交通手段が確保・利用しにくい」が他の回答と比べ多くなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者では、「特にない」(40.4%)、次いで「通院のための交通手段が確保・利用しにくい」(18.7%)が多くなっている。

知的障害者では、「障害のために症状が正確に伝わらない」(39.8%)が最も多くなっている。

精神障害者では、「特にない」(33.4%)、次いで「障害のために症状が正確に伝わらない」、「医療費の負担が大きい」(25.8%)がそれぞれ多くなっている。

難病患者では、「特にない」(40.0%)、次いで「医療費の負担が大きい」(22.1%)が多くなっている。

発達障害者では、「障害のために症状が正確に伝わらない」(38.7%)が最も多くなっている。

高次脳機能障害者では、「障害のために症状が正確に伝わらない」(39.5%)が最も多くなっている。

【特別支援学校高等部3年生】

「往診を頼める医師がない」、「特にない」(43.5%)が最も多くなっている。

【障害者支援施設利用者】

「障害のために症状が正確に伝わらない」(58.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「特にない」(45.7%)、次いで「障害のために症状が正確に伝わらない」(25.7%)が多くなっている。

健康管理や医療について困ったり不便に思うこと（複数回答）

障害種別	n	障害のために症状が正確に伝わらない	医療費の負担が大きい	通院のための交通手段が確保・利用しにくい	近所に診てくれる医師や病院等がない	病院等での手続きや案内など、障害のある人への配慮が足りない	往診を頼める医師がない	通院のための介助者を確保しにくい	定期的に健康診断を受けられない	その他	特にない	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	16.8%	16.3%	15.7%	12.8%	10.6%	8.7%	5.8%	3.6%	5.6%	40.5%	8.2%
身体障害者	895	11.3%	14.7%	18.7%	10.8%	9.3%	10.2%	6.8%	3.0%	5.8%	40.4%	9.4%
知的障害者	329	39.8%	6.7%	15.2%	17.6%	21.0%	11.9%	9.1%	7.3%	7.6%	32.2%	4.3%
精神障害者	380	25.8%	25.8%	19.7%	18.9%	13.7%	6.3%	6.1%	6.3%	6.8%	33.4%	5.0%
難病患者	280	9.6%	22.1%	14.3%	14.6%	9.6%	9.3%	8.2%	2.9%	4.6%	40.0%	7.1%
発達障害者	186	38.7%	17.2%	15.6%	24.7%	23.1%	9.1%	7.5%	7.0%	8.1%	28.0%	2.7%
高次脳機能障害者	43	39.5%	25.6%	14.0%	14.0%	23.3%	7.0%	7.0%	2.3%	9.3%	14.0%	16.3%
特別支援学校高等部3年生	23	4.3%	21.7%	4.3%	17.4%	4.3%	43.5%	8.7%	8.7%	4.3%	43.5%	0.0%
障害者支援施設利用者	50	58.0%	16.0%	14.0%	8.0%	18.0%	10.0%	14.0%	2.0%	8.0%	22.0%	6.0%
グループホーム利用者	35	25.7%	0.0%	11.4%	14.3%	8.6%	8.6%	20.0%	5.7%	2.9%	45.7%	2.9%

(2) 医療的ケアについて

・医療的ケアを必要としている割合が約1割となっている。

【障害種別ごと】

必要としている医療的ケアの種類は、身体障害者では、「その他」(5.5%)、「経管栄養」(3.1%)が多くなっている。

知的障害者では、「経管栄養」(3.0%)、「その他」(3.0%)が多くなっている。

精神障害者では、「その他」(3.9%)、「ネブライザー(薬剤の吸入)」(1.1%)が多くなっている。

難病患者では、「経管栄養」(5.7%)、「酸素吸入」(5.0%)が多くなっている。

発達障害者では、「ネブライザー(薬剤の吸入)」(2.2%)、「その他」(2.2%)が多くなっている。

高次脳機能障害者では、「経管栄養」(9.3%)、「痰の吸引」(7.0%)が多くなっている。

必要としている医療的ケアについて(複数回答)

障害種別	n	経管栄養	導尿	酸素吸入	痰の吸引	ネブライザー (薬剤の吸入)	人工呼吸器	気管切開部の衛生管理	その他	必要としていない	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	1.9%	1.4%	1.3%	0.4%	1.5%	1.5%	0.6%	4.0%	76.3%	15.2%
身体障害者	895	3.1%	2.5%	1.9%	0.7%	2.5%	2.8%	0.8%	5.5%	71.2%	16.4%
視覚障害	94	3.2%	1.1%	3.2%	3.2%	3.2%	1.1%	1.1%	3.2%	75.5%	17.0%
聴覚障害	87	2.3%	2.3%	3.4%	2.3%	2.3%	1.1%	1.1%	4.6%	67.8%	23.0%
平衡機能障害	31	6.5%	3.2%	9.7%	6.5%	3.2%	3.2%	0.0%	6.5%	61.3%	22.6%
音声・言語・そしゃく機能障害	62	19.4%	4.8%	8.1%	14.5%	4.8%	3.2%	3.2%	9.7%	59.7%	11.3%
肢体不自由(上肢・下肢・体幹、 脳原性運動機能障害)	434	5.8%	3.5%	3.5%	4.6%	3.0%	1.4%	1.2%	5.5%	69.4%	16.1%
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・ 直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害)	363	2.5%	2.5%	4.4%	1.9%	2.5%	1.4%	1.1%	8.5%	67.5%	16.3%
知的障害者	329	3.0%	1.2%	2.1%	2.7%	2.7%	1.5%	0.9%	3.0%	78.4%	14.6%
④	70	18.6%	5.7%	12.9%	15.7%	11.4%	8.6%	5.7%	4.3%	60.0%	14.3%
A	67	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	9.0%	73.1%	14.9%
B	93	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	86.0%	12.9%
C	110	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	1.8%	87.3%	10.9%
精神障害者	380	0.5%	0.5%	0.3%	0.3%	1.1%	0.3%	0.0%	3.9%	81.6%	13.4%
1級	26	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	11.5%	57.7%	23.1%
2級	233	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	2.6%	85.0%	12.4%
3級	128	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	91.4%	6.3%
難病患者	280	5.7%	1.8%	5.0%	4.6%	3.2%	2.1%	1.8%	3.9%	74.6%	12.5%
発達障害者	186	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	2.2%	1.1%	0.0%	2.2%	88.2%	6.5%
高次脳機能障害者	43	9.3%	2.3%	2.3%	7.0%	0.0%	0.0%	2.3%	4.7%	65.1%	20.9%
特別支援学校高等部3年生	23	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.3%	8.7%
障害者支援施設利用者	50	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	4.0%	68.0%	24.0%
グループホーム利用者	35	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.3%	5.7%

D. 外出や余暇の過ごし方

(1) 外出の際に特に困っていること

・「特にない」を除くと、「家族に負担がかかる」が2割を超えて最も多くなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では、「家族に負担がかかる」がそれぞれ最も多くなっている。(身体 25.0%、知的 30.4%、発達 26.3%、高次脳 32.6%)

精神障害者では、「特にない」(29.7%)、次いで「交通費や利用料がかかる」(25.8%)が多くなっている。

難病患者では、「特にない」(37.1%)、次いで「家族に負担がかかる」(20.4%)が多くなっている。

【特別支援学校高等部3年生】

「特にない」(34.8%)、次いで「家族に負担がかかる」(30.4%)が多くなっている。

【障害者支援施設利用者】

「家族に負担がかかる」(28.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「特にない」(37.1%)、次いで「歩道が少ない・狭い」、「歩道上に障害物が多い」(17.1%)がそれぞれ多くなっている。

外出の際に特に困っていること (複数回答)

障害種別	n	家族に負担がかかる	交通費や利用料がかかる	道路や建物・駅に階段や段差が多い	歩道が少ない・狭い	バスや鉄道などが利用しにくい	周囲の視線が気になる	手助けや理解を得られない	困ったときに周囲の人の助けが得られない	障害者用の駐車スペースが少ない	多機能トイレが少ない
		障害者手帳所持者等	1,754	23.3%	15.6%	14.8%	12.6%	9.2%	9.2%	8.4%	7.5%
身体障害者	895	25.0%	13.5%	23.2%	14.9%	11.4%	4.8%	4.6%	13.0%	10.1%	
知的障害者	329	30.4%	13.1%	8.2%	10.0%	9.4%	12.8%	16.7%	4.6%	9.1%	
精神障害者	380	20.5%	25.8%	7.1%	11.1%	7.4%	19.5%	11.6%	2.1%	2.4%	
難病患者	280	20.4%	12.9%	15.4%	11.8%	9.3%	3.6%	4.6%	9.3%	10.4%	
発達障害者	186	26.3%	18.3%	2.2%	14.0%	10.8%	21.0%	22.6%	2.2%	4.8%	
高次脳機能障害者	43	32.6%	30.2%	14.0%	18.6%	4.7%	2.3%	14.0%	2.3%	7.0%	
特別支援学校高等部3年生	23	30.4%	8.7%	8.7%	13.0%	13.0%	17.4%	8.7%	0.0%	17.4%	
障害者支援施設利用者	50	28.0%	4.0%	12.0%	20.0%	2.0%	8.0%	12.0%	6.0%	6.0%	
グループホーム利用者	35	14.3%	8.6%	2.9%	17.1%	8.6%	8.6%	11.4%	5.7%	8.6%	

障害種別	n	建物の設備が利用しにくい	外出時に利用したい福祉サービスがない	歩道上に障害物が多い	介助者が確保できない	施設が利用しにくい	点字ブロックや音の出る信号機が不十分	その他	特にない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	3.5%	3.1%	3.0%	2.2%	0.7%	0.7%	5.6%
身体障害者	895	5.4%	2.6%	4.2%	3.0%	1.1%	1.1%	6.3%	23.0%	10.8%
知的障害者	329	2.1%	6.7%	0.9%	3.3%	1.5%	0.0%	3.6%	29.8%	12.2%
精神障害者	380	1.3%	2.1%	1.6%	1.1%	0.5%	0.5%	5.5%	29.7%	11.1%
難病患者	280	3.9%	1.4%	4.3%	2.1%	0.7%	0.4%	7.1%	37.1%	8.9%
発達障害者	186	0.5%	5.9%	1.1%	1.6%	0.5%	0.0%	5.4%	23.7%	11.8%
高次脳機能障害者	43	0.0%	4.7%	2.3%	4.7%	0.0%	0.0%	14.0%	9.3%	18.6%
特別支援学校高等部3年生	23	0.0%	13.0%	4.3%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	34.8%	4.3%
障害者支援施設利用者	50	2.0%	4.0%	20.0%	14.0%	0.0%	2.0%	2.0%	14.0%	22.0%
グループホーム利用者	35	2.9%	8.6%	17.1%	5.7%	0.0%	2.9%	0.0%	37.1%	2.9%

(2) 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために効果的なこと

・「一緒に活動する仲間がいること」が3割を超えて最も多く、次いで、「活動する場所が近くにあること」が3割近くとなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者、難病患者では、「活動する場所が近くにあること」がそれぞれ最も多くなっている。
(身体 28.8%、難病 36.8%)

知的障害者、発達障害者では、「一緒に活動する仲間がいること」がそれぞれ最も多くなっている。
(知的 35.6%、発達 34.4%)

精神障害者、高次脳機能障害者では、「費用を心配しなくてよいこと」がそれぞれ最も多くなっている。
(精神 44.7%、高次脳 32.6%)

【特別支援学校高等部3年生】

「特にない」を除くと、「活動する場所が近くにあること」(17.4%)が最も多くなっている。

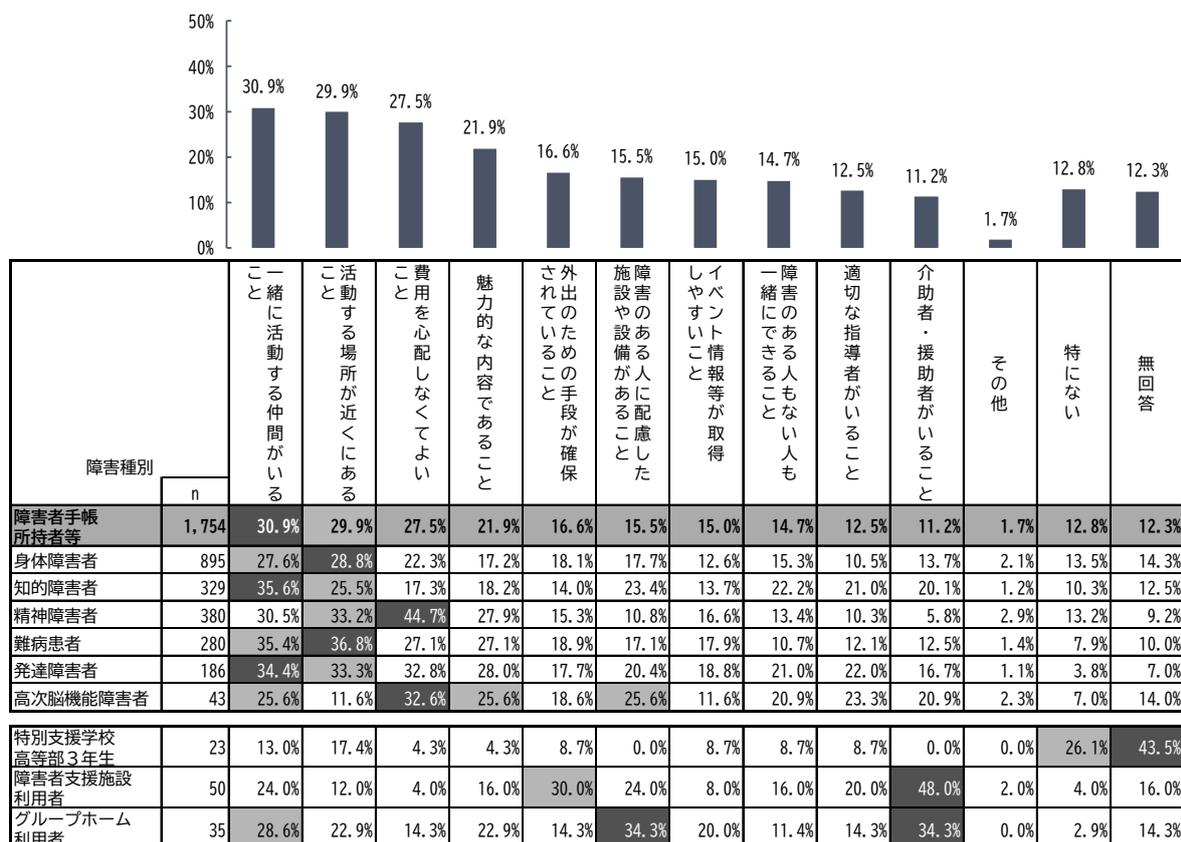
【障害者支援施設利用者】

「介助者・援助者がいること」(48.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「障害のある人に配慮した施設や設備があること」、「介助者・援助者がいること」(34.3%)がそれぞれ最も多くなっている。

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために効果的なこと (複数回答)



E. 幼稚園・保育所、学校等

(1) 幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていること

・「特にない」が4割半ばと最も多く、次いで、「授業についていけない」が1割半ばとなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者、知的障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者では、「特にない」が最も多くなっている。(身体 38.7%、知的 45.3%、難病 62.5%、発達 33.9%、高次脳 100.0%)

精神障害者では、「授業についていけない」(41.7%)が最も多くなっている。

「特にない」を除くと、身体障害者では、「通うための介助者を確保しにくい」、「通うための交通手段が確保・利用しにくい」(22.6%)がそれぞれ最も多くなっている。

「特にない」を除くと、知的障害者では、「通うための介助者を確保しにくい」(17.4%)が最も多くなっている。

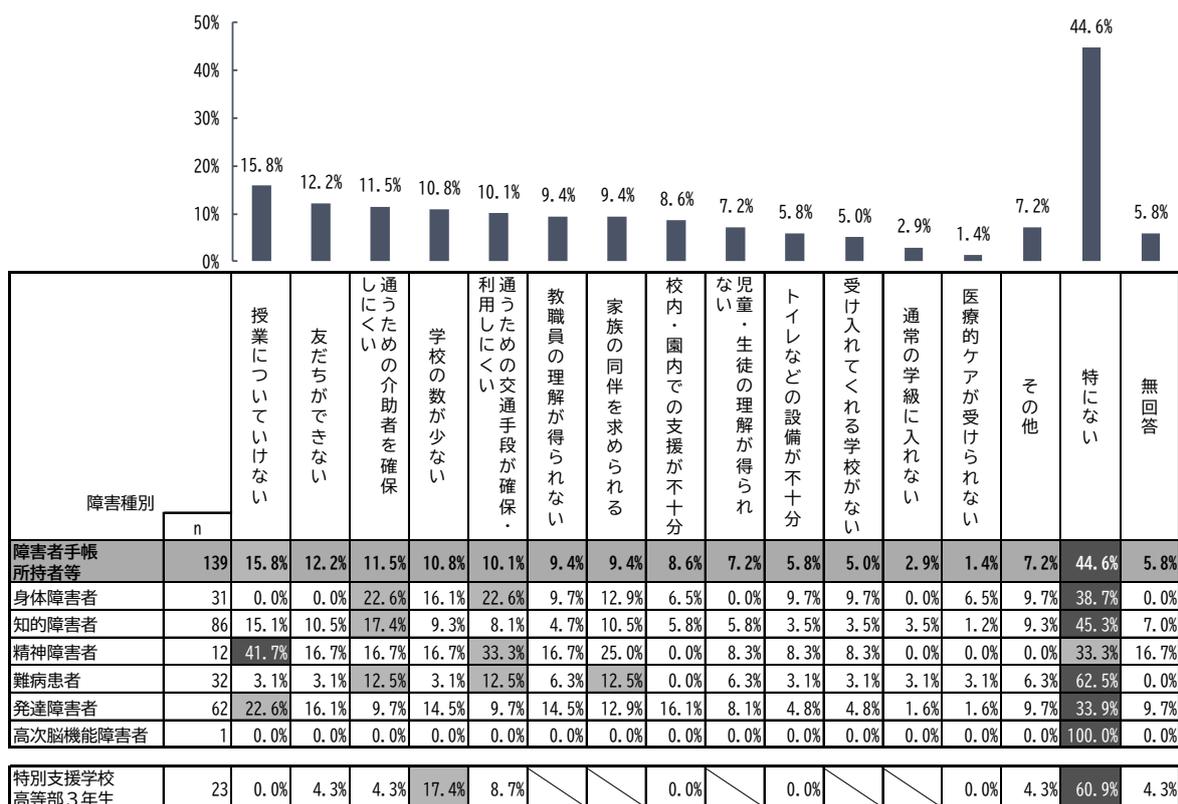
「特にない」を除くと、難病患者では、「通うための介助者を確保しにくい」、「通うための交通手段が確保・利用しにくい」、「家族の同伴を求められる」(12.5%)がそれぞれ最も多くなっている。

「特にない」を除くと、発達障害者では、「授業についていけない」(22.6%)が最も多くなっている。

【特別支援学校高等部3年生】

「特にない」(60.9%)、次いで「学校の数が少ない」(17.4%)が多くなっている。

幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていること（複数回答）



F. 雇用・就労

(1) 就労状況

・「非正規雇用（契約社員・アルバイト等）」が5割近くと最も多く、次いで「正規雇用（正社員等）」が2割半ばとなっている。

【障害種別ごと】

すべての障害種別で「非正規雇用（契約社員・アルバイト等）」が最も多くなっている。

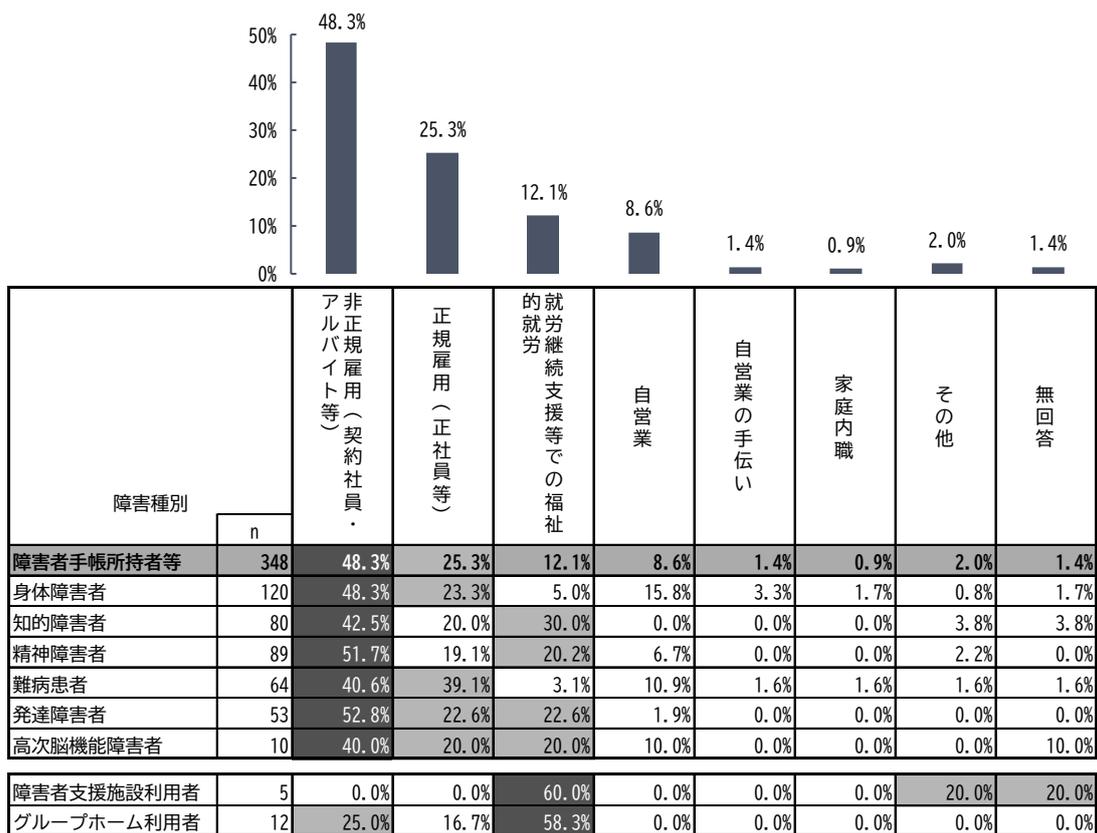
【障害者支援施設利用者】

「就労継続支援等での福祉的就労」(60.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「就労継続支援等での福祉的就労」(58.3%)が最も多くなっている。

仕事の形態（単一回答）



(2) 生活を支える収入

・「年金」が4割近くと最も多く、次いで「家族の収入（仕送り・援助含む）」が3割を超えている。

【障害種別ごと】

身体障害者、難病患者、高次脳機能障害者では、「年金」がそれぞれ最も多くなっている。

（身体 59.3%、難病 38.9%、高次脳 37.2%）

知的障害者では、「家族の収入（仕送り・援助含む）」（54.7%）が最も多くなっている。

精神障害者では、「障害年金」（40.3%）が最も多くなっている。

発達障害者では、「家族の収入（仕送り・援助含む）」（60.8%）が最も多くなっている。

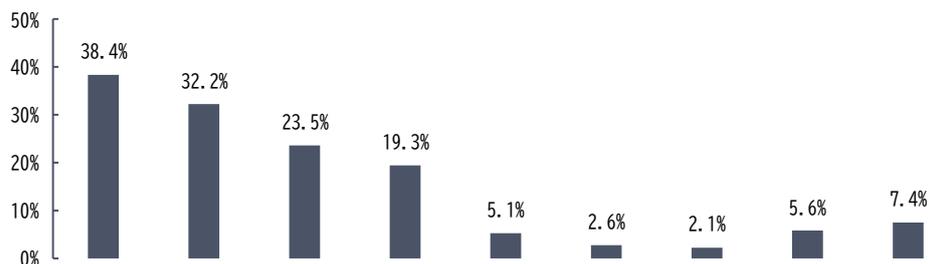
【障害者支援施設利用者】

「障害年金」（68.0%）が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「障害年金」（77.1%）が最も多くなっている。

生活を支える収入（複数回答）



障害種別	n	年金	家族の収入 （仕送りの収入・援助含む）	障害年金	給与・賃金	生活保護	作業所・継続支援施設や	事業収入	その他	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	38.4%	32.2%	23.5%	19.3%	5.1%	2.6%	2.1%	5.6%	7.4%
身体障害者	895	59.3%	23.7%	17.5%	12.3%	3.9%	0.6%	2.7%	5.4%	7.0%
知的障害者	329	6.4%	54.7%	38.6%	21.3%	3.3%	8.8%	0.0%	4.3%	9.1%
精神障害者	380	11.8%	39.7%	40.3%	23.7%	13.2%	3.4%	1.8%	8.2%	5.0%
難病患者	280	38.9%	37.1%	12.5%	22.1%	2.1%	0.7%	1.4%	6.1%	6.4%
発達障害者	186	1.1%	60.8%	26.3%	26.3%	2.2%	4.3%	1.1%	5.9%	11.3%
高次脳機能障害者	43	37.2%	34.9%	25.6%	14.0%	9.3%	2.3%	0.0%	7.0%	7.0%
障害者支援施設利用者	50	18.0%	30.0%	68.0%	6.0%	0.0%	14.0%	0.0%	2.0%	6.0%
グループホーム利用者	35	5.7%	8.6%	77.1%	17.1%	17.1%	31.4%	0.0%	2.9%	2.9%

(3) 仕事をする上で困っていること

・「収入が少ない」が4割半ばと最も多く、次いで「体調のコントロールが難しい」が3割近くとなっている。

【障害種別ごと】

知的障害者を除く、すべての障害種別で「収入が少ない」が最も多くなっている。

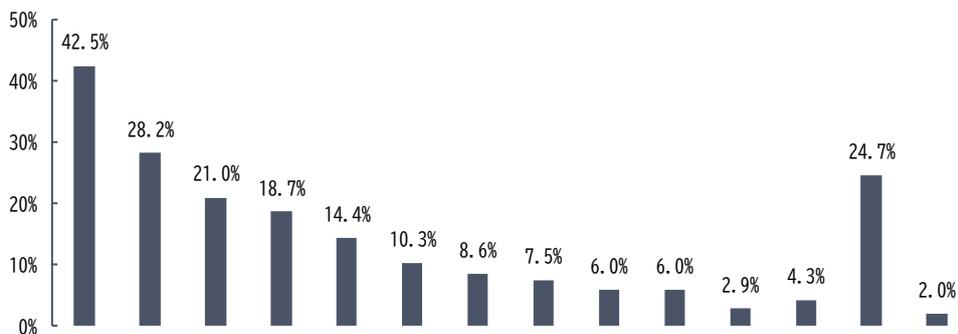
【障害者支援施設利用者】

「収入が少ない」(60.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「収入が少ない」、「職場の設備が不足(トイレ、休憩室など)」(25.0%)が最も多くなっている。

仕事をする上で困っていること (複数回答)



障害種別	n	収入が少ない	体調のコントロールが難しい	通勤が大変	職場の人間関係	コミュニケーションができない	仕事がかたい	職場の理解が得られない	能力を發揮できない	業務内容が合わない	職場の設備が不足(トイレ、休憩室など)	就業時間が合わない	その他	特にない	無回答
		障害者手帳所持者等	348	42.5%	28.2%	21.0%	18.7%	14.4%	10.3%	8.6%	7.5%	6.0%	6.0%	2.9%	4.3%
身体障害者	120	33.3%	23.3%	18.3%	15.0%	6.7%	7.5%	7.5%	5.8%	3.3%	9.2%	1.7%	5.0%	28.3%	4.2%
知的障害者	80	35.0%	8.8%	18.8%	21.3%	17.5%	5.0%	3.8%	6.3%	2.5%	2.5%	5.0%	3.8%	38.8%	2.5%
精神障害者	89	53.9%	51.7%	24.7%	29.2%	23.6%	14.6%	15.7%	12.4%	14.6%	3.4%	2.2%	3.4%	13.5%	0.0%
難病患者	64	42.2%	32.8%	14.1%	6.3%	1.6%	14.1%	4.7%	9.4%	4.7%	7.8%	3.1%	4.7%	21.9%	1.6%
発達障害者	53	50.9%	24.5%	20.8%	35.8%	35.8%	3.8%	13.2%	11.3%	5.7%	5.7%	3.8%	1.9%	20.8%	0.0%
高次脳機能障害	10	60.0%	30.0%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%
障害者支援施設利用者	5	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
グループホーム利用者	12	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%

G. 今後の希望

(1) 近い将来（今後3年以内）に日中どのように過ごしたいか

・「家庭内で過ごしたい」が3割を超えて最も多く、次いで「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が2割半ばとなっている。

【障害種別ごと】

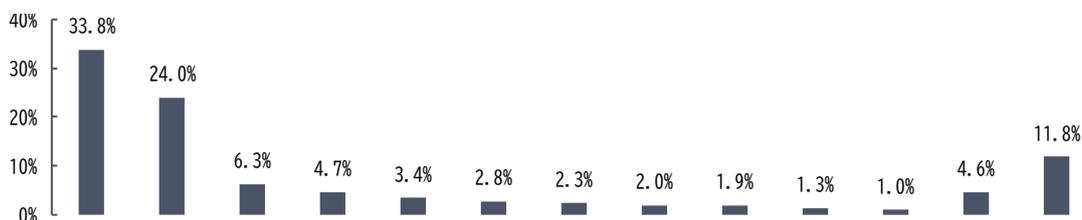
身体障害者、難病患者では、「家庭内で過ごしたい」がそれぞれ最も多くなっている。

（身体 47.6%、難病 33.6%）

知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では、「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」がそれぞれ最も多くなっている。

（知的 28.6%、精神 39.2%、発達 42.5%、高次脳 39.5%）

近い将来（今後3年以内）に希望する日中の過ごし方（単一回答）



障害種別	n	近い将来（今後3年以内）に希望する日中の過ごし方（単一回答）												
		家庭内で過ごしたい	収入を伴う仕事をしたい	幼稚園や保育所に通いたい	障害者に通いたい	活動・集まりに参加したい	創作活動や交流などの活動したい	高齢者の通所施設・事業所に通いたい	家の仕事を手伝いたい	高齢者の入所施設で過ごしたい	障害者の入所施設で過ごしたい	ボランティアなどをしたい	病院等（デイケア等）で過ごしたい	その他
障害者手帳所持者等	1,754	33.8%	24.0%	6.3%	4.7%	3.4%	2.8%	2.3%	2.0%	1.9%	1.3%	1.0%	4.6%	11.8%
身体障害者	895	47.6%	12.8%	2.9%	3.0%	2.7%	3.9%	2.9%	3.5%	2.0%	1.6%	0.9%	3.2%	13.0%
知的障害者	329	8.2%	28.6%	19.1%	19.8%	2.1%	1.2%	1.2%	0.9%	5.8%	0.6%	0.9%	3.6%	7.9%
精神障害者	380	20.3%	39.2%	2.1%	2.9%	4.7%	1.1%	2.6%	0.5%	2.1%	1.8%	2.4%	8.2%	12.1%
難病患者	280	33.6%	26.8%	8.9%	5.0%	3.6%	3.2%	0.4%	1.4%	2.5%	0.7%	1.1%	2.9%	10.0%
発達障害者	186	7.0%	42.5%	26.3%	9.1%	3.2%	0.0%	1.1%	0.0%	1.6%	0.0%	0.5%	1.6%	7.0%
高次脳機能障害者	43	23.3%	39.5%	0.0%	0.0%	2.3%	9.3%	2.3%	2.3%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%	11.6%

H. 相談や情報入手

(1) 情報入手・コミュニケーションで困ること

・「特にない」を除くと、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が2割を超えて最も多くなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者、難病患者では、「特にない」が最も多く（身体 32.4%、難病 40.4%）、次いで「どこを調べればよいかわからない」となっている。（身体 20.0%、難病 16.8%）

知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」がそれぞれ最も多くなっている。

（知的 40.4%、精神 35.5%、発達 51.1%、高次脳 32.6%）

【特別支援学校高等部3年生】

「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」、「複雑な文章表現がわかりにくい」（47.8%）が最も多くなっている。

【障害者支援施設利用者】

「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」、「相手の意思や情報を把握できない」（46.0%）が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」（40.0%）が最も多くなっている。

情報の入手やコミュニケーションで困ること（複数回答）

障害種別	n	話	ど	な	に	な	で	内	希	話	案
		話	ど	な	に	な	で	内	希	話	案
障害者手帳所持者等	1,754	22.9%	20.4%	20.3%	19.6%	16.0%	12.3%	12.0%	11.5%	8.2%	
身体障害者	895	18.5%	20.0%	10.5%	12.0%	18.9%	5.6%	11.8%	4.1%	8.6%	
知的障害者	329	37.4%	24.0%	40.4%	38.0%	15.5%	30.4%	14.3%	21.3%	8.8%	
精神障害者	380	29.7%	27.6%	35.5%	28.2%	15.8%	21.1%	17.1%	23.7%	8.4%	
難病患者	280	15.0%	16.8%	10.7%	14.6%	13.9%	6.4%	10.7%	4.3%	9.6%	
発達障害者	186	47.8%	29.6%	51.1%	48.9%	10.2%	36.0%	15.6%	32.3%	9.7%	
高次脳機能障害者	43	30.2%	25.6%	32.6%	25.6%	20.9%	25.6%	14.0%	9.3%	9.3%	
特別支援学校高等部3年生	23	47.8%	30.4%	43.5%	47.8%	17.4%	17.4%	8.7%	13.0%	8.7%	
障害者支援施設利用者	50	46.0%	20.0%	44.0%	32.0%	36.0%	46.0%	14.0%	14.0%	14.0%	
グループホーム利用者	35	40.0%	20.0%	34.3%	31.4%	25.7%	34.3%	11.4%	17.1%	11.4%	

障害種別	n	音	情	文	ソ	W	手	要	そ	特	無
		音	情	文	ソ	W	手	要	そ	特	無
障害者手帳所持者等	1,754	1.9%	1.7%	1.4%	0.9%	0.6%	3.2%	31.4%	11.5%		
身体障害者	895	3.2%	2.8%	1.6%	1.6%	0.8%	2.8%	32.4%	13.3%		
知的障害者	329	1.8%	0.6%	1.5%	0.9%	1.2%	5.2%	19.5%	10.0%		
精神障害者	380	0.5%	0.5%	1.8%	0.3%	0.0%	4.2%	23.2%	7.6%		
難病患者	280	2.1%	0.7%	1.4%	0.0%	0.4%	2.9%	40.4%	11.8%		
発達障害者	186	1.1%	0.5%	1.6%	0.5%	1.6%	3.8%	17.2%	4.8%		
高次脳機能障害者	43	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	7.0%	11.6%	11.6%		
特別支援学校高等部3年生	23	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	17.4%	8.7%		
障害者支援施設利用者	50	8.0%	4.0%	2.0%	2.0%	2.0%	10.0%	10.0%	14.0%		
グループホーム利用者	35	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.7%	8.6%		

I. 福祉サービス

(1) サービス利用で困っていること

・「特にない」が3割を超えており最も多く、次いで「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が2割半ばとなっている。

【障害種別ごと】

「特にない」と「無回答」を除くと、身体障害者、知的障害者、難病患者では、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」がそれぞれ最も多くなっている。

(身体 27.9%、知的 26.4%、難病 25.0%)

精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」がそれぞれ最も多くなっている。(精神 32.9%、発達 32.3%、高次脳 30.2%)

【特別支援学校高等部3年生】

「どのようなサービスを利用できるのかわからない」(60.9%)が最も多くなっている。

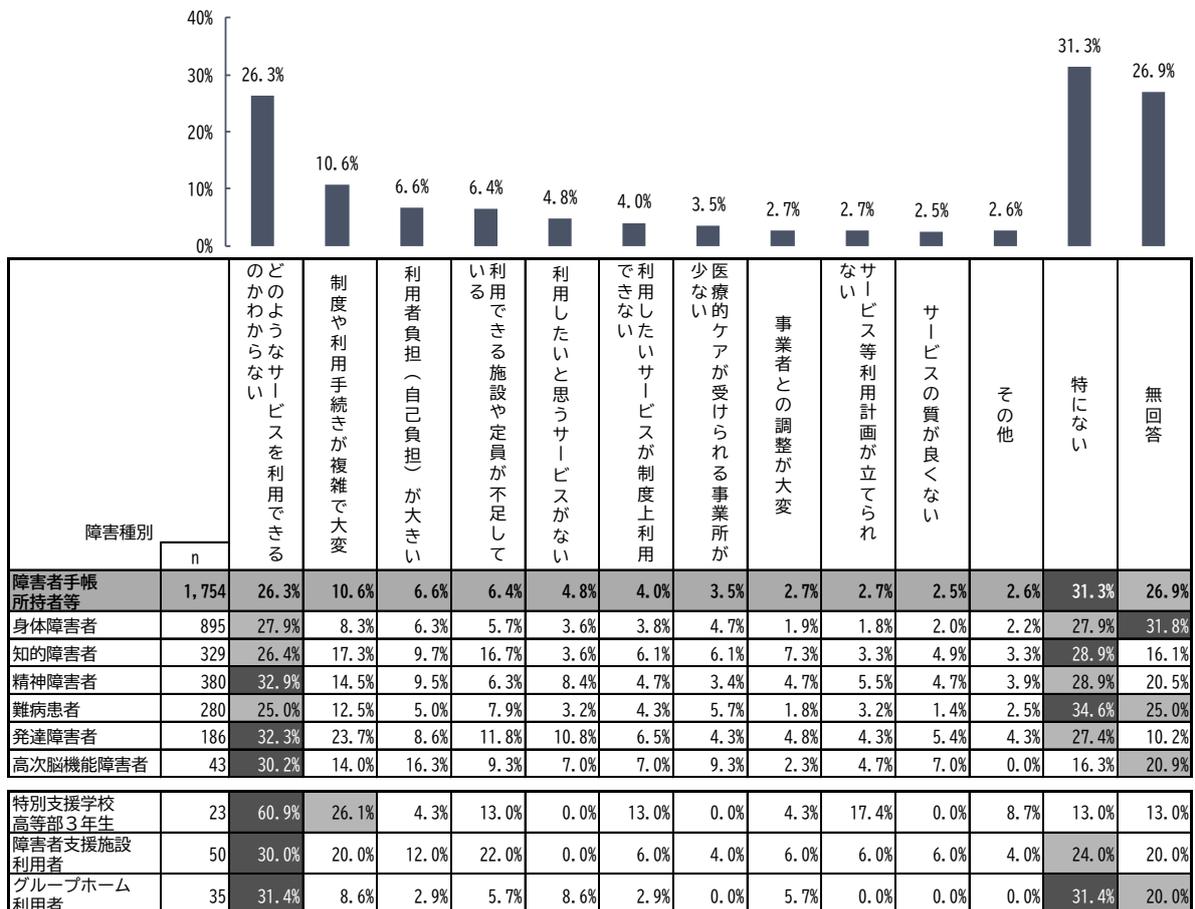
【障害者支援施設利用者】

「どのようなサービスを利用できるのかわからない」(30.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「どのようなサービスを利用できるのかわからない」、「特にない」(31.4%)がそれぞれ最も多くなっている。

サービス利用で困っていること (複数回答)



(2) 福祉サービス事業所に望むこと

・「特にない」が3割半ばと最も多く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にして欲しい」が約1割となっている。

【障害種別ごと】

発達障害者では、「サービス利用の手続きを簡単にして欲しい」（24.2%）が他の障害種別と比べ多くなっている。

【特別支援学校高等部3年生】

「特にない」（26.1%）、次いで「サービス利用の手続きを簡単にして欲しい」（21.7%）が多くなっている。

【障害者支援施設利用者】

「特にない」（20.0%）、次いで「家庭への寄附金やイベント活動等の負担を軽減して欲しい」（10.0%）が多くなっている。

【グループホーム利用者】

「特にない」（25.7%）、次いで「サービス利用の手続きを簡単にして欲しい」、「職員の専門性や技術を向上して欲しい」、「職員の接し方を改善して欲しい」、「防災訓練や災害時の備蓄等の防災対策を充実して欲しい」、「施設等のバリアフリー化を進めて欲しい」（5.7%）が多くなっている。

福祉サービス事業所に望むこと（複数回答）

障害種別	n	サービス利用の手続きを簡単に して欲しい	職員の専門性や技術を向上して 欲しい	関係機関との連携を強くして欲 しい	職員の 人権意識を 高めて欲しい	職員の接し方を改善して欲しい	家庭への寄附金やイベント活動 等の負担を軽減して欲しい	防災訓練や災害時の備蓄等の 防災対策を充実して欲しい	施設等のバリアフリー化を 進めて欲しい	その他	特にない	無回答
		障害者手帳 所持者等	1,754	11.1%	6.3%	4.8%	3.2%	3.1%	2.5%	2.1%	1.7%	2.5%
身体障害者	895	8.6%	4.7%	3.0%	2.1%	2.3%	2.1%	2.2%	2.2%	3.2%	30.7%	48.8%
知的障害者	329	16.7%	14.9%	9.1%	6.7%	3.3%	4.3%	3.0%	1.8%	3.6%	34.0%	25.5%
精神障害者	380	13.2%	5.8%	5.8%	5.5%	5.3%	4.2%	0.5%	0.8%	3.4%	35.5%	36.1%
難病患者	280	10.0%	4.3%	6.1%	1.4%	2.1%	1.8%	1.8%	2.1%	3.2%	41.1%	36.8%
発達障害者	186	24.2%	21.5%	15.6%	6.5%	5.4%	3.8%	3.2%	0.5%	1.6%	31.7%	18.8%
高次脳機能障害者	43	7.0%	16.3%	7.0%	4.7%	4.7%	0.0%	2.3%	0.0%	4.7%	25.6%	41.9%
特別支援学校 高等部3年生	23	21.7%	8.7%	8.7%	13.0%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	26.1%	34.8%
障害者支援施設 利用者	50	6.0%	8.0%	2.0%	8.0%	6.0%	10.0%	4.0%	4.0%	2.0%	20.0%	24.0%
グループホーム 利用者	35	5.7%	5.7%	0.0%	2.9%	5.7%	0.0%	5.7%	5.7%	0.0%	25.7%	17.1%

J. 災害時の支援等

(1) 災害時に困ることや不安なこと

・「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が4割近くと最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が3割近くとなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者、精神障害者、難病患者では、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」がそれぞれ最も多くなっている。(身体 38.9%、精神 50.0%、難病 46.8%)

知的障害者では、「一人では避難できない」(47.2%) が最も多くなっている。

発達障害者では、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」(51.6%) が最も多くなっている。

高次脳機能障害者では、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(37.2%) が最も多くなっている。

【特別支援学校高等部3年生】

「一人では避難できない」(43.5%) が最も多くなっている。

災害時に困ることや不安なこと (複数回答)

障害種別	n	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	避難所で必要な支援が受けられるか不安	一人では避難できない	避難所のトイレを利用できるか不安	避難所での他の人と一緒に過ごすのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所がどこにあるかわからない	近くに助けてくれる人がいない	助けを求めると手段がない	災害の発生等の情報を知る方法がない	その他	特になし	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	38.5%	27.3%	26.8%	26.1%	21.5%	18.3%	17.6%	13.1%	10.8%	10.4%	9.5%	7.3%	2.9%
身体障害者	895	38.9%	28.6%	29.3%	30.9%	14.7%	21.8%	15.9%	11.5%	14.4%	9.8%	9.9%	7.6%	2.8%
視覚障害者	94	24.5%	41.5%	48.9%	36.2%	17.0%	29.8%	9.6%	18.1%	16.0%	10.6%	14.9%	6.4%	2.1%
聴覚障害者	87	34.5%	33.3%	28.7%	28.7%	16.1%	25.3%	9.2%	14.9%	14.9%	10.3%	17.2%	19.5%	8.0%
平衡機能障害者	31	35.5%	35.5%	51.6%	54.8%	25.8%	48.4%	3.2%	41.9%	12.9%	19.4%	29.0%	16.1%	3.2%
音声・言語・そしゃく機能障害者	62	30.6%	25.8%	33.9%	29.0%	17.7%	27.4%	12.9%	17.7%	17.7%	9.7%	14.5%	12.9%	4.8%
肢体不自由(上肢・下肢・体幹、脳原性運動機能障害)	434	37.6%	30.9%	39.2%	39.9%	19.6%	31.3%	12.9%	12.7%	14.1%	12.0%	10.6%	6.7%	3.5%
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害)	363	48.2%	25.6%	21.2%	26.4%	9.6%	14.0%	18.2%	11.6%	15.2%	9.4%	9.4%	8.3%	1.1%
知的障害者	329	29.9%	37.5%	47.2%	27.6%	39.3%	28.4%	15.0%	21.4%	6.2%	10.9%	13.5%	12.3%	3.8%
①	70	45.7%	60.0%	57.1%	38.6%	61.4%	52.9%	4.3%	12.9%	12.9%	12.9%	18.6%	10.0%	5.7%
A	67	26.9%	41.8%	70.1%	28.4%	35.8%	31.3%	9.0%	26.9%	7.5%	7.5%	13.4%	13.4%	6.0%
B	93	22.6%	28.0%	36.6%	24.7%	36.6%	20.4%	20.4%	21.5%	5.4%	12.9%	11.8%	9.7%	2.2%
C	110	27.3%	29.1%	36.4%	22.7%	30.0%	18.2%	20.9%	23.6%	1.8%	10.0%	11.8%	15.5%	2.7%
精神障害者	380	50.0%	25.0%	16.8%	19.3%	35.6%	12.9%	14.9%	14.7%	5.7%	14.4%	9.8%	6.4%	3.6%
1級	26	46.2%	34.6%	38.5%	34.6%	46.2%	15.4%	3.8%	15.4%	7.7%	7.7%	3.8%	11.5%	7.7%
2級	233	48.5%	24.0%	18.9%	20.6%	34.8%	12.4%	17.6%	15.5%	6.4%	14.6%	12.0%	7.3%	3.9%
3級	128	53.1%	25.0%	8.6%	14.1%	35.2%	13.3%	12.5%	13.3%	3.9%	15.6%	7.0%	3.9%	2.3%
難病患者	280	46.8%	27.9%	22.9%	30.0%	14.6%	19.6%	16.8%	8.6%	11.8%	7.9%	8.6%	6.1%	2.5%
発達障害者	186	30.1%	38.7%	42.5%	24.2%	51.6%	26.3%	13.4%	23.7%	2.2%	10.8%	9.7%	10.8%	2.2%
高次脳機能障害者	43	32.6%	37.2%	32.6%	25.6%	23.3%	23.3%	9.3%	25.6%	16.3%	14.0%	9.3%	4.7%	2.3%
特別支援学校高等部3年生	23	21.7%	26.1%	43.5%	17.4%	26.1%	17.4%	26.1%	17.4%	4.3%	13.0%	8.7%	13.0%	0.0%

K. 障害者への理解や権利擁護

(1) 障害に対する市民の理解が進んでいるか

・「どちらともいえない」が3割半ばで最も多く、「進んでいる」、「多少進んでいる」を合わせた『進んでいる』と回答した人は2割半ばとなっている。一方で、「後退している」及び「多少後退している」を合わせた『後退している』は1割未満となっている。

【障害種別ごと】

すべての障害種別で「どちらともいえない」が最も多くなっている。

【特別支援学校高等部3年生】

「わからない」(34.1%)が最も多くなっている。

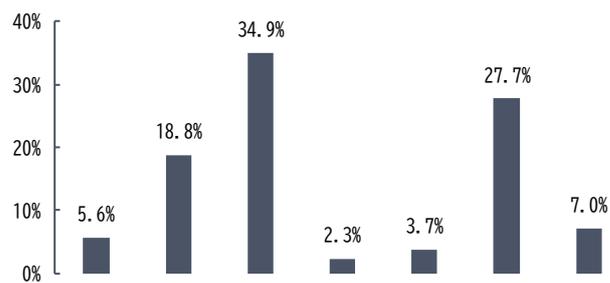
【障害者支援施設利用者】

「どちらともいえない」(34.0%)と最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「わからない」(45.7%)が最も多くなっている。

障害に対する市民の理解（単一回答）



障害種別	n	進んでいる	多少進んでいる	どちらともいえない	多少後退している	後退している	わからない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	5.6%	18.8%	34.9%	2.3%	3.7%
身体障害者	895	7.2%	18.4%	34.5%	2.2%	2.2%	27.3%	8.2%
知的障害者	329	3.6%	20.7%	38.3%	3.3%	7.3%	23.7%	3.0%
精神障害者	380	5.0%	15.8%	37.1%	1.8%	7.4%	29.5%	3.4%
難病患者	280	2.5%	23.2%	32.5%	2.5%	1.8%	27.1%	10.4%
発達障害者	186	2.2%	22.6%	38.7%	2.7%	7.0%	24.7%	2.2%
高次脳機能障害者	43	4.7%	11.6%	39.5%	0.0%	7.0%	27.9%	9.3%
特別支援学校高等部3年生	23	2.4%	24.7%	31.8%	0.0%	3.5%	34.1%	3.5%
障害者支援施設利用者	50	4.0%	26.0%	34.0%	0.0%	6.0%	26.0%	4.0%
グループホーム利用者	35	0.0%	22.9%	28.6%	0.0%	0.0%	45.7%	2.9%

(2) 差別・嫌な思いを感じた場面

「特にない」が4割半ばと最も多く、次いで「日常生活で」が2割半ばとなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者、難病患者では、「特にない」（身体 51.1%、難病 50.7%）、次いで「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」（身体 20.3%、難病 19.3%）が多くなっている。

知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では、「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」がそれぞれ最も多くなっている。

（知的 46.5%、精神 41.1%、発達 52.2%、高次脳 30.2%）

【特別支援学校高等部3年生】

「特にない」（47.8%）を除くと、「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」（39.1%）が最も多くなっている。

【障害者支援施設利用者】

「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」（40.0%）が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「特にない」（51.4%）を除くと、「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」（37.1%）が最も多くなっている。

差別・嫌な思いを感じた場面（複数回答）

障害種別	n	日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）	人との交流の場（話の輪に入れない/活動に参加できないなど）	職場で（会社・職場に理解されない/障害に対する誤解があるなど）	学校で（通常の学級との交流が難しい/活動に参加できないなど）	交通機関乗車時に（迷惑がられる/乗車拒否されるなど）	病院や薬局などで（診察や入院を拒否される/支援者とだけ話されるなど）	飲食店、娯楽施設やホテルなどで（利用を拒否される/支援者の同伴などの条件を付けられるなど）	通所先や入所施設等で（隔離・拘束される/心ない言葉を受ける/暴力を受けるなど）	住まいを探すときに（入店を拒否される/支援者の同伴を求められるなど）	その他	特にない	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	26.3%	15.0%	9.7%	6.3%	6.3%	3.1%	2.6%	2.0%	2.0%	3.3%	44.3%	13.7%
身体障害者	895	20.3%	7.4%	5.3%	2.1%	7.2%	2.2%	2.1%	1.1%	1.3%	2.5%	51.1%	16.6%
知的障害者	329	46.5%	27.7%	9.7%	18.2%	10.6%	3.6%	5.8%	3.6%	1.5%	4.3%	24.6%	8.8%
精神障害者	380	41.1%	27.1%	22.1%	7.6%	5.5%	6.3%	2.9%	4.2%	4.5%	6.1%	30.3%	7.4%
難病患者	280	19.3%	8.9%	6.1%	5.0%	5.7%	0.7%	2.1%	1.4%	0.7%	2.9%	50.7%	18.2%
発達障害者	186	52.2%	43.0%	19.4%	21.5%	12.4%	5.4%	7.5%	3.8%	2.2%	3.2%	18.3%	4.8%
高次脳機能障害者	43	30.2%	9.3%	9.3%	0.0%	11.6%	4.7%	0.0%	4.7%	4.7%	7.0%	27.9%	14.0%
特別支援学校高等部3年生	23	39.1%	17.4%	4.3%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%	47.8%	4.3%
障害者支援施設利用者	50	40.0%	18.0%	2.0%	6.0%	10.0%	12.0%	12.0%	12.0%	2.0%	4.0%	22.0%	16.0%
グループホーム利用者	35	37.1%	17.1%	5.7%	5.7%	8.6%	8.6%	0.0%	8.6%	2.9%	0.0%	51.4%	2.9%

L. 新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 「新しい生活様式」の実践で困難なこと

・「特にならない」が4割を超えており最も多く、次いで「マスクの着用」が2割半ばとなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者では、「特にならない」(37.3%)、次いで「マスクの着用」(30.4%)が多くなっている。

知的障害者では、「人との距離を確保する」(38.3%)が最も多くなっている。

精神障害者では、「特にならない」(40.0%)、次いで「マスクの着用」(27.9%)が多くなっている。

難病患者では、「特にならない」(45.4%)、次いで「人との距離を確保する」(26.4%)が多くなっている。

発達障害者では、「特にならない」(36.6%)、次いで「人との距離を確保する」(32.8%)が多くなっている。

高次脳機能障害者では、「マスクの着用」、「こまめな換気」(30.2%)が最も多くなっている。

【特別支援学校高等部3年生】

「特にならない」(52.2%)、次いで「人との距離を確保する」(26.1%)が多くなっている。

【障害者支援施設利用者】

「マスクの着用」、「人との距離を確保する」(54.0%)がそれぞれ最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「人との距離を確保する」(37.1%)が最も多くなっている。

「新しい生活様式」の実践で困難なこと（複数回答）

障害種別	n	マスクの着用	人との距離を確保する	三密の回避	こまめな換気	手洗いうがい	その他	特にならない	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	27.0%	26.1%	21.4%	16.6%	16.0%	2.2%	40.4%	11.3%
身体障害者	895	30.4%	27.0%	20.4%	18.9%	19.2%	1.8%	37.3%	14.1%
知的障害者	329	30.7%	38.3%	29.8%	15.2%	18.8%	2.1%	33.4%	7.0%
精神障害者	380	27.9%	23.2%	21.8%	17.1%	15.8%	4.5%	40.0%	8.4%
難病患者	280	24.3%	26.4%	21.4%	15.0%	15.0%	2.5%	45.4%	10.0%
発達障害者	186	26.3%	32.8%	25.3%	11.8%	12.9%	4.8%	36.6%	6.5%
高次脳機能障害者	43	30.2%	23.3%	27.9%	30.2%	27.9%	2.3%	20.9%	11.6%
特別支援学校高等部3年生	23	17.4%	26.1%	17.4%	17.4%	13.0%	0.0%	52.2%	8.7%
障害者支援施設利用者	50	54.0%	54.0%	46.0%	30.0%	40.0%	2.0%	18.0%	6.0%
グループホーム利用者	35	20.0%	37.1%	31.4%	20.0%	14.3%	5.7%	25.7%	8.6%

M. 市の取り組み等

(1) 市が充実させていけば良いと思うこと

・「経済的な援助」が2割半ばと最も多く、次いで「就労支援の充実」が2割近くとなっている。

【障害種別ごと】

身体障害者では、「無回答」を除くと「外出や移動の支援」(21.7%)が最も多くなっている。

精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者では、「経済的な援助」がそれぞれ最も多くなっている。

(精神 38.4%、難病 26.1%、高次脳 37.2%)

知的障害者、発達障害者では「就労支援の充実」がそれぞれ最も多くなっている。

(知的 28.0%、発達 37.1%)

【特別支援学校高等部3年生】

「差別・虐待防止の周知・対応の推進」(43.5%)が最も多くなっている。

【障害者支援施設利用者】

「入所施設の整備」(48.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「無回答」を除くと、「グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備」(28.6%)が最も多くなっている。

市が充実させていけばよいと思う障害者施策（5つまでの複数回答）

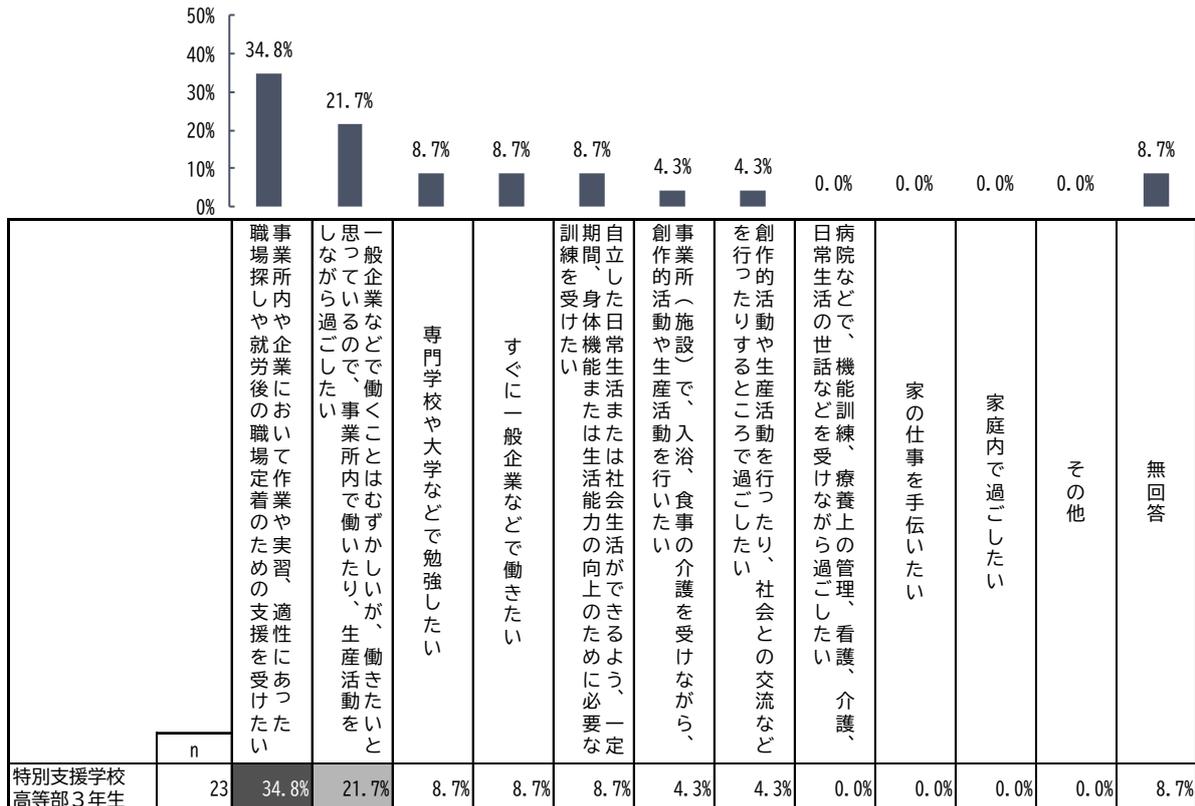
項目	障害者手帳所持者等 (n=1,754)	身体障害者 (n=895)	知的障害者 (n=329)	精神障害者 (n=380)	難病患者 (n=280)	発達障害者 (n=186)	高次脳機能障害者 (n=43)	特別支援学校高等部3年生 (n=23)	障害者支援施設利用者 (n=50)	グループホーム利用者 (n=35)
経済的な援助	25.1%	18.8%	18.8%	38.4%	26.1%	30.6%	37.2%	34.8%	8.0%	14.3%
就労支援の充実	19.8%	10.9%	28.0%	29.5%	20.0%	37.1%	20.9%	34.8%	4.0%	11.4%
差別・虐待防止の周知・対応の推進	19.0%	15.1%	23.4%	22.1%	17.1%	26.3%	25.6%	43.5%	16.0%	17.1%
災害時の支援体制	18.4%	21.5%	16.1%	14.5%	19.3%	13.4%	9.3%	17.4%	16.0%	11.4%
障害のある人の特性を知ってもらうための周知啓発	17.9%	12.7%	20.4%	29.2%	12.9%	30.1%	32.6%	26.1%	26.0%	11.4%
外出や移動の支援	16.6%	21.7%	14.3%	10.0%	16.8%	11.8%	14.0%	34.8%	32.0%	20.0%
利用しやすい道路や公共施設の整備	16.2%	20.1%	9.7%	14.5%	18.2%	8.1%	25.6%	8.7%	14.0%	5.7%
障害のある人の健康診断や健康相談事業	13.6%	14.0%	16.1%	15.0%	12.1%	13.4%	23.3%	26.1%	10.0%	20.0%
適切な療育や支援を受けられる体制	13.3%	11.8%	22.2%	10.3%	13.6%	18.3%	16.3%	4.3%	22.0%	2.9%
障害者医療に関する情報収集・情報提供	12.8%	14.7%	10.0%	11.8%	12.9%	13.4%	14.0%	13.0%	18.0%	0.0%
介助者への支援	10.5%	13.3%	9.7%	6.6%	13.6%	9.1%	14.0%	8.7%	18.0%	5.7%
障害福祉サービス等の質の確保	9.6%	9.2%	13.7%	10.8%	7.1%	12.9%	4.7%	17.4%	18.0%	11.4%
一人ひとりのニーズに応じた多様な学びの場	8.5%	4.8%	15.8%	9.7%	6.1%	21.0%	9.3%	17.4%	0.0%	2.9%
障害のある人へのコミュニケーション支援	8.3%	5.0%	12.2%	12.6%	5.7%	19.4%	9.3%	4.3%	10.0%	8.6%
行政情報の提供	8.1%	8.5%	3.3%	8.4%	9.3%	5.4%	7.0%	0.0%	2.0%	0.0%
電子申請の導入等による利便性の向上	7.9%	6.4%	4.9%	12.1%	11.4%	12.4%	4.7%	0.0%	2.0%	5.7%
在宅福祉サービスの充実	7.3%	9.9%	4.0%	4.2%	8.9%	1.6%	7.0%	0.0%	2.0%	2.9%
入所施設の整備	7.2%	8.6%	15.5%	3.2%	5.7%	7.5%	11.6%	17.4%	48.0%	8.6%
グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備	6.9%	4.4%	20.4%	5.8%	3.9%	11.8%	4.7%	17.4%	10.0%	28.6%
関係機関が連携した相談支援の充実	6.9%	5.5%	8.5%	7.4%	7.9%	12.9%	11.6%	8.7%	4.0%	2.9%
重症心身障害者の受入先や医療的ケアを受けられる施設の整備	6.8%	9.9%	9.7%	3.4%	8.9%	2.2%	11.6%	4.3%	16.0%	8.6%
成年後見制度等の権利擁護	6.1%	4.9%	10.6%	6.6%	8.2%	12.9%	7.0%	17.4%	4.0%	5.7%
障害者のスポーツ、芸術、文化活動などに対する支援	5.5%	4.0%	9.7%	5.0%	6.4%	6.5%	0.0%	8.7%	8.0%	8.6%
通所施設の整備	4.8%	4.5%	10.3%	5.3%	4.3%	9.7%	4.7%	8.7%	12.0%	5.7%
防犯体制や緊急時の連絡通報システムづくり	4.7%	5.0%	2.4%	5.3%	3.6%	4.3%	2.3%	0.0%	0.0%	8.6%
地域住民やボランティア団体、行政の連携	2.7%	3.0%	0.3%	2.1%	3.2%	1.6%	4.7%	4.3%	2.0%	0.0%
ペアレントトレーニングなどの親子支援	2.5%	1.5%	5.8%	2.6%	2.1%	10.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公民館等の社会教育を行う施設の充実	2.0%	2.2%	1.5%	1.3%	2.1%	1.1%	0.0%	0.0%	2.0%	5.7%
その他	3.1%	3.2%	3.3%	2.9%	2.1%	4.3%	2.3%	4.3%	4.0%	0.0%
無回答	20.1%	22.0%	15.2%	17.4%	20.7%	13.4%	11.6%	8.7%	14.0%	34.3%

N. 学校卒業後の日中の過ごし方 ※「特別支援学校高等部3年生」のみ

(1) 学校卒業後の日中の過ごし方

・「事業所(施設)内や企業において作業や実習、適性にあった職場探しや就労後の職場定着のための支援を受けたい」が3割半ばと最も多くなっている。

学校卒業後の日中の過ごし方 (単一回答)



O. 入所施設での生活 ※「障害者支援施設利用者」及び「グループホーム利用者」のみ

(1) 入所してからの期間

【障害者支援施設利用者】

「20年以上」(48.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「5年未満」(48.6%)が最も多くなっている。

入所期間(単一回答)

	n	5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	無回答
		障害者支援施設利用者	50	12.0%	6.0%	24.0%	4.0%
グループホーム利用者	35	48.6%	14.3%	11.4%	5.7%	8.6%	11.4%

(2) 入所することを決めた理由

【障害者支援施設利用者】

「家族による介助がむずかしくなったため」(66.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「施設のほうで安心して暮らせるため」(51.4%)が最も多くなっている。

入所理由(複数回答)

	n	たむ家族に介助が	し施設で暮らすのが安心	た常時介助が必要な	し自立した暮らしを	た家族にすめられ	応まていが障害に	な医療的ケアが必要	十分だサービスが不	受りハビリや訓練を	その他	特に理由はない	無回答
		障害者支援施設利用者	50	66.0%	52.0%	42.0%	20.0%	8.0%	10.0%	6.0%	4.0%	0.0%	16.0%
グループホーム利用者	35	34.3%	51.4%	14.3%	40.0%	31.4%	5.7%	5.7%	0.0%	2.9%	5.7%	8.6%	5.7%

(3) 年間で自宅に帰った頻度

【障害者支援施設利用者】

「10回以上」(46.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「10回以上」(48.6%)が最も多くなっている。

年間で自宅に帰った頻度 (単一回答)

	n	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	その他	無回答
		障害者支援施設利用者	50	46.0%	8.0%	8.0%	12.0%
グループホーム利用者	35	48.6%	8.6%	2.9%	11.4%	25.7%	2.9%

(4) 施設生活の満足度

【障害者支援施設利用者】

「満足している」(50.0%)が最も多くなっている。

【グループホーム利用者】

「満足している」(60.0%)が最も多くなっている。

施設生活の満足度 (単一回答)

	n	満足している	少し満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答
		障害者支援施設利用者	50	50.0%	20.0%	14.0%	8.0%
グループホーム利用者	35	60.0%	20.0%	17.1%	0.0%	2.9%	0.0%

川越市障害者福祉に関するアンケート調査報告書
《概要版》

発行日 令和5年3月
発行 川越市福祉部障害者福祉課
川越市元町1丁目3番地1
電話 049-224-6307（直通）
FAX 049-225-3033

